

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書（護岸概成時）

（令和7年2月分）

【海水の流れ・海域生態系調査】

国 土 交 通 省 近 畿 地 方 整 備 局

大 阪 港 湾 局

大 阪 湾 広 域 臨 海 環 境 整 備 セ ン タ ー

目 次

I 事後調査の概要

1. 調査概要	I - 1
2. 調査結果の概要	I - 4

II 事後調査結果

1. 海水の流れ調査	II - 1
2. 海域生態系調査	II - 26

I 事後調査の概要

1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく令和7年2月の事後調査（海水の流れ・海域生態系調査）の概要は表-1に、調査点の位置は図-1に示すとおりである。

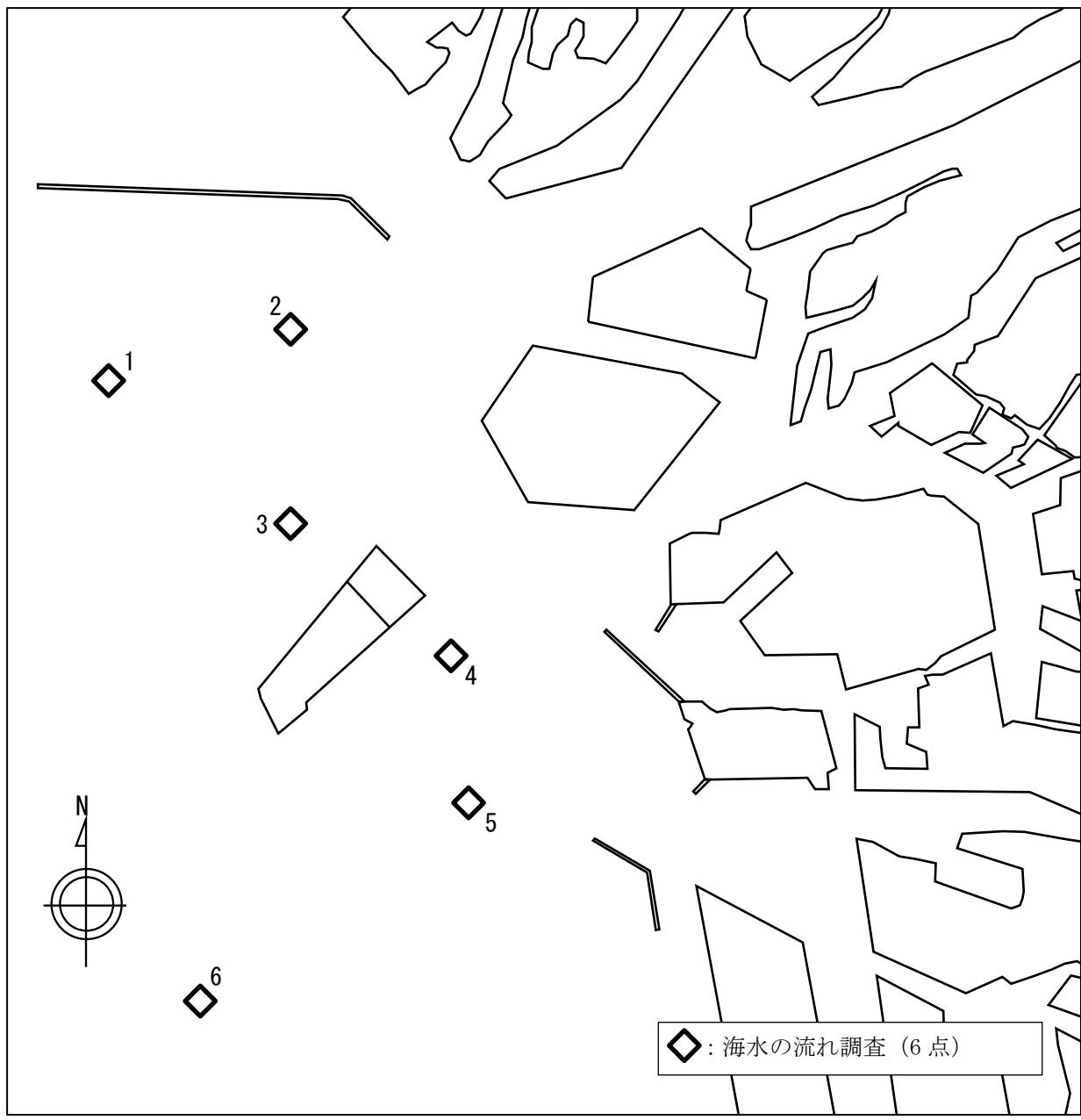
表-1 事後調査（海水の流れ・海域生態系調査）の概要（令和7年2月）

（2）海水の流れ

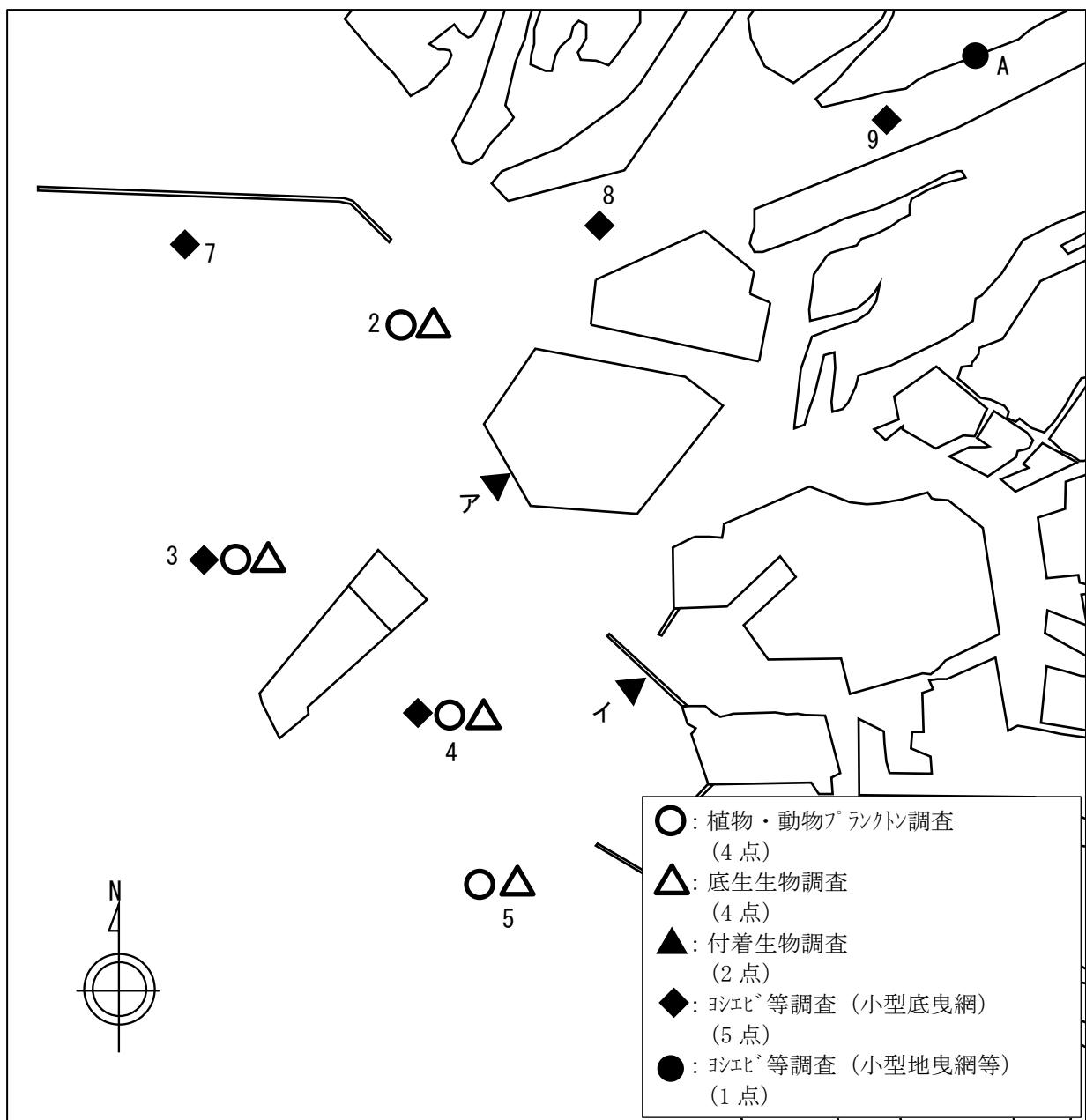
調査項目		調査範囲・調査点	調査頻度	調査期間	調査方法(試料採取方法)
定点調査	流向・流速 水温・塩分	6点×4層 第1層：海面下1m 第2層：海面下3m 第3層：海面下6m 第4層：海底面上1m	2回 (2,8月)	2月12日 ～ 2月26日	自記式流向流速計を設置 併せて、水温・塩分の連続測定を実施

（8）海域生態系

調査項目		調査範囲・調査点	調査頻度	調査期間	調査方法(試料採取方法)
植物 ^フ ラクトン調査	種組成、細胞数	4点×2層 【2, 3, 4, 5】 (海面下1m、海底面上2m)	4回 (2, 5, 8, 11月)	2月12日	バントーナ型採水器を用いて採水し、室内分析を行う。
動物 ^フ ラクトン調査	種組成、個体数	4点×1層 【2, 3, 4, 5】 (鉛直曳き)	4回 (2, 5, 8, 11月)	2月12日	北原式定量ネットを用いて採取し、室内分析を行う。
底生生物調査	種組成、個体数、湿重量	4点 【2, 3, 4, 5】	2回 (2, 8月)	2月12日	スミス・マッキンタイヤー型採泥器を用いて採取し、室内分析を行う。
付着生物調査①	種組成、個体数、湿重量	2点3層 【7, 1】 (平均水面、大潮期最低潮面、大潮期最低潮面-1m)	4回 (2, 5, 8, 11月)	2月16日	ダイバーによる目視観察及び枠取り調査を行う。
付着生物調査②	ムラサキイガイ現存量調査	2点 【7, 1】	4回 (2, 5, 8, 11月)	2月16日	ダイバーによる目視観察及び枠取り調査を行う。 枠取り調査ではムラサキイガイの分布が比較的均質な場所を選び、分布層の上位・中位・下位の3層で採集する。 また、目視観察では0.5～1m毎に被度と厚みを測定する。
水産生物 ①	ヨシエビ等現存量調査	小型底曳網調査 種別個体数、全長	5点 【3, 4, 7, 8, 9】	12回 (毎月)	カバーネットを付けた石桁網又はこれと同等の漁具を用い曳網を行う。
		水温、塩分、DO			船上より測定器を垂下し、1mピッチで測定する。
水産生物 ②	ヨシエビ等現存量調査	小型地曳網等調査 種別個体数、全長	淀川の岸辺1点	4回/年 (3, 4, 10, 11月)	淀川の岸辺で小型地曳網等を用いて曳網を行う。
		水温、塩分			採水し、機器測定を行う。



図一1 (1) 海水の流れ調査点 (令和7年2月)



図一1（2） 海域生態系調査点（令和7年2月）

2. 調査結果の概要

(1) 海水の流れ調査

1) 平均大潮期の流況【流況様式1号】

海面下1mでは、調査点1、2、3においては、1潮汐間を通じて概ね東南東～南方向の流れとなっていました。流向の変化は小さかったです。調査点4、5、6においては、高潮後1時から低潮前1時は沖側に向かう南～西方向の流れとなっていました。低潮後2時から高潮前1時は概ね東南東～南方向の流れとなっていました。

海底面上1mでは、高潮後3時から低潮前2時は沖側に向かう概ね南～西方向の流れ、低潮時から高潮前1時には湾奥側に向かう概ね北～東方向の流れとなっていました。沖側に向かう流れに比べて湾奥側に向かう流れの方がやや強い傾向を示していました。

2) 恒流【流況様式2号】

海面下1mでは、調査点1、2、3では東南東～南東方向、その他の調査点では南～南西方向の流れとなっていました。

海面下3mでは、調査点1、3、6では南～南南東方向、調査点2では西方向、その他の調査点では西南西方向の流れとなっていました。

海面下6mでは、調査点1、3では東方向、調査点2、4、5では北西～北北西方向、調査点6では南東方向の流れとなっていました。

海底面上1mでは、北北西～東北東方向の流れとなっていました。いずれの調査点も概ね湾奥側に向かう流れを示していました。

流速は下層部に比べて上層部で大きい傾向を示していました。

3) 水温、塩分【流況様式3号】

水温については、海面下1mでは変動範囲が6.0～9.7°Cで期間平均値が8.0～8.1°C、海底面上1mでは変動範囲が8.0～9.1°Cで期間平均値が8.6～8.8°Cであり、上層部に比べて下層部の変動は小さく、調査点間の差異は各層ともに小さい傾向を示していました。

塩分については、海面下1mの変動範囲は20.4～31.5、各調査点の期間平均値は28.8～30.4となっていました。淀川河口部に位置する調査点2では、他の調査点に比べて変動が大きく、低塩分となる傾向を示していました。一方、海底面上1mでの変動範囲は31.2～32.5と海面下1mに比べて変動が小さく、各調査点の期間平均値は32.0～32.2で調査点間の差異は小さかったです。

(2) 海域生態系調査

1) 植物プランクトン【海域生態系様式1号】

植物プランクトンの調査点別出現種類数は上層（海面下1m）では59～69種類、下層（海底面上2m）では60～73種類、細胞数は上層では、9,207,000～17,064,300cells/L、下層では、428,600～1,638,600cells/Lの範囲にあった。沈殿量は上層では、0.14～0.28mL/L、下層では、0.12～0.79mL/Lであった。

細胞数による主な出現種は、上層は *Skeletonema costatum* complex、下層では *Skeletonema costatum* complex、*Pseudo-nitzschia* sp. (cf. *pungens*)であった。

2) 動物プランクトン【海域生態系様式2号】

動物プランクトンの調査点別出現種類数は13～19種類、個体数は、36,131～63,916個体/m³であった。沈殿量は13.5～19.0mL/m³であった。

個体数による主な出現種は、*Evadne nordmanni*、nauplius of COPEPODA、*Podon polyphemoides*であった。

3) 底生生物【海域生態系様式3号】

底生生物の調査点別出現種数は、軟体動物門1～5種類、環形動物門6～8種類、節足動物門0～1種類の計7～14種類であった。調査点別個体数は、軟体動物門2～11個体/0.1m²、環形動物門で58～208個体/0.1m²、節足動物門0～1個体/0.1m²の範囲にあった。

個体数による主な出現種は、シノブハネエラスピオ、ハナオカカギゴカイであった。

4) 付着生物①【海域生態系様式4、5号】

付着植物の出現種類数（各層の合計）は、調査点アで緑藻綱3種類、紅藻綱4種類の計7種類であり、調査点イで緑藻綱3種類、褐藻綱1種類、紅藻綱5種類、その他2種類の計11種類であった。

各層の湿重量は、調査点アでは3.47～28.00g/0.1m²、調査点イでは0.96～45.87g/0.1m²の範囲であった。

湿重量による主な出現種は、調査点アではイトグサ属、アオサ属、シオグサ属であり、調査点イではイトグサ属であった。

付着動物の出現種数（各層の合計）は、調査点アで軟体動物門17種類、環形動物門24種類、節足動物門19種類、その他14種類の計74種類であり、調査点イで軟体動物門21種類、環形動物門29種類、節足動物門25種類、その他14種類の計89種類であった。

各層の個体数は、調査点アで1,628～4,674個体/0.1m²、調査点イで1,987～4,091個体/0.1m²の範囲にあった。

個体数による主な出現種は、調査点アではウスカラシオツガイ、タテソコエビ属であり、調査点イではウミミズムシ、ウスカラシオツガイであった。

5) 付着生物②【海域生態系様式 6 号】

枠取り調査によると、ムラサキイガイの個体数は調査点アで 0~2 個体/0.25 m²（合計 4 個体/0.25 m²）、調査点イの上位から下位で各 1 個体/0.25 m²（合計 3 個体/0.25 m²）が出現した。

湿重量は調査点アで 0~0.05 g/0.25 m²（合計 0.07 g/0.25 m²）、調査点イで 0.01 g 未満~1.72 g/0.25 m²（合計 1.81 g/0.25 m²）であった。

6) 水産生物(ヨシエビ等) (小型底曳網調査) 【海域生態系様式 7、8 号】

水温は、水深 0.5m で 6.0~7.8°C、海底面上 1.0m で 6.4~9.1°C の範囲にあった。

塩分は、水深 0.5m で 15.0~29.2、海底面上 1.0m で 16.8~32.2 の範囲にあった。

溶存酸素量 (DO) は、水深 0.5m で 10.7~12.5mg/L、海底面上 1.0m で 8.0~10.5mg/L の範囲にあり、DO 飽和度は水深 0.5m で 94.8~123.0%、海底面上 1.0m で 84.8~101.4% の範囲にあった。

生物の出現種数は、全調査点の合計で魚類 12 種類、甲殻類 7 種類、頭足類 1 種類、その他 4 種類の計 24 種類であった。

個体数は、魚類は 1~17 個体、甲殻類が 0~50 個体、頭足類が 0~1 個体、その他が 0~9 個体の範囲にあり、湿重量は、魚類が 2.6~5,361.4 g、甲殻類が 0~94.3 g、頭足類が 0~1.0 g、その他が 0~84.2 g の範囲にあった。

個体数による主な出現種は、スペベエビ、シャコ、アカエビであり、スペベエビとシャコは調査点 3、4、7 で、アカエビは調査点 4 で主要種となった。

湿重量による主な出現種は、アカエイ、ヒラメであり、アカエイは調査点 7、8 で、ヒラメは調査点 3 で主要種となった。

7) 水産生物(ヨシエビ等) (小型地曳網等調査) 【海域生態系様式 9 号】

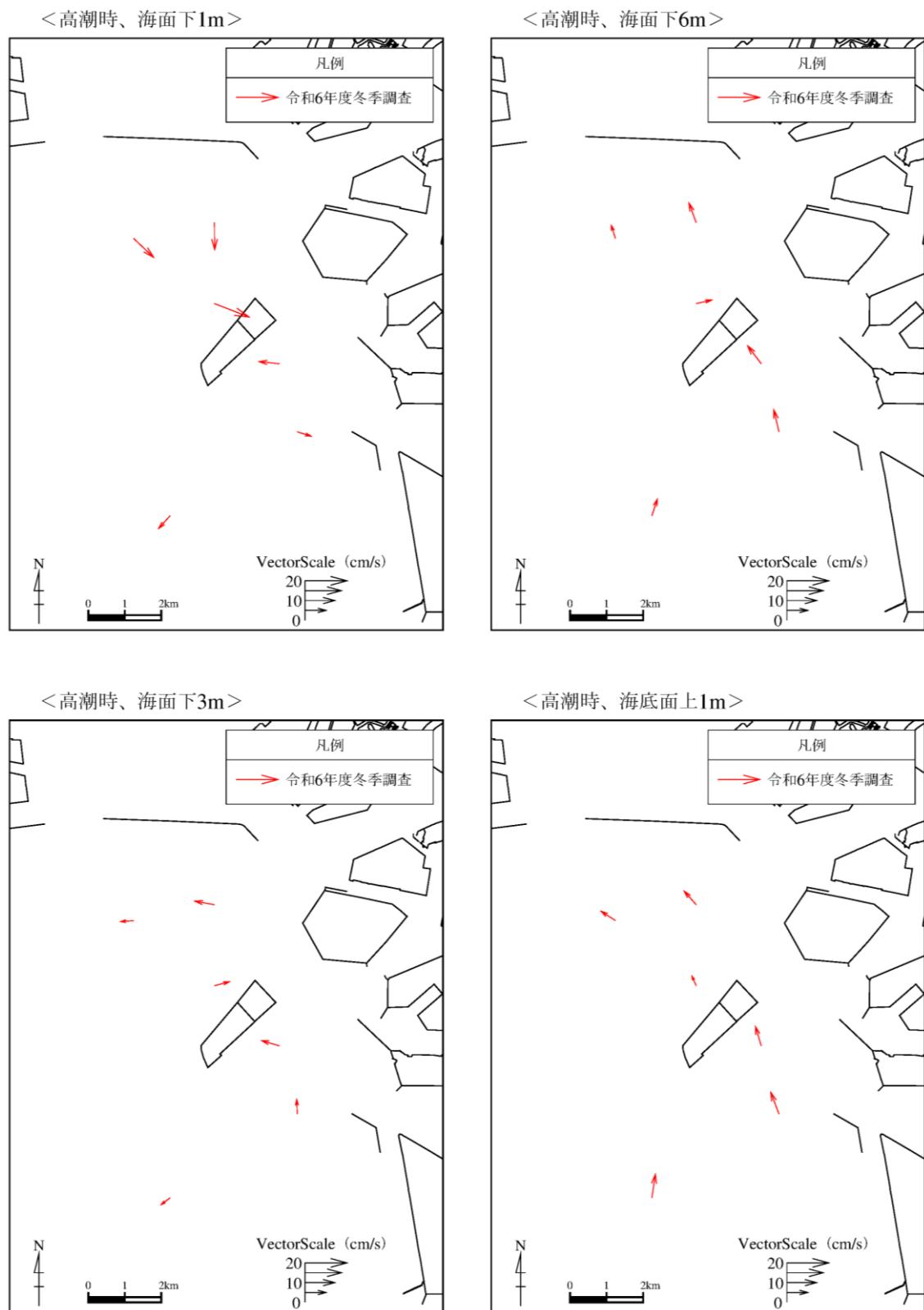
2 月は調査なし。

II 事後調査結果

流況様式第1号

流況調査結果（潮流）[令和7年2月分]

調査期間：令和7年2月12日～26日

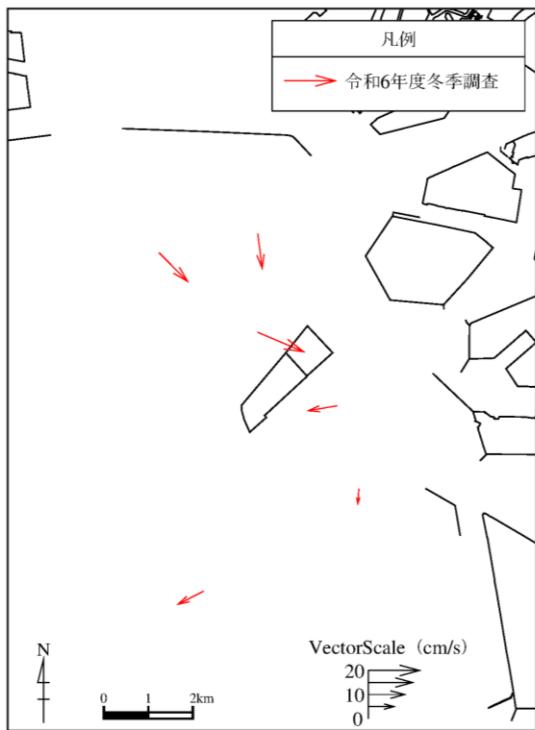


流況様式第1号

流況調査結果（潮流）[令和7年2月分]

調査期間：令和7年2月12日～26日

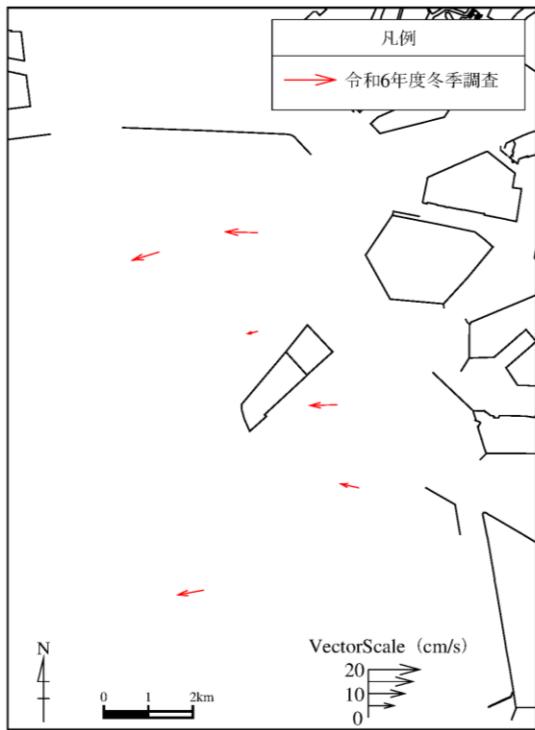
<高潮後1時、海面下1m>



<高潮後1時、海面下6m>



<高潮後1時、海面下3m>



<高潮後1時、海底面上1m>



流況様式第1号

流況調査結果（潮流）[令和7年2月分]

調査期間：令和7年2月12日～26日

<高潮後2時、海面下1m>



<高潮後2時、海面下6m>



<高潮後2時、海面下3m>



<高潮後2時、海底面上1m>

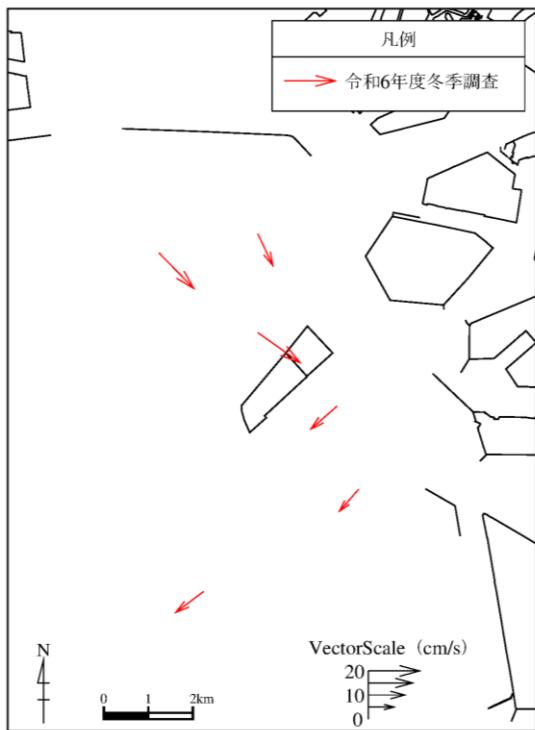


流況様式第1号

流況調査結果（潮流）[令和7年2月分]

調査期間：令和7年2月12日～26日

<高潮後3時、海面下1m>



<高潮後3時、海面下6m>



<高潮後3時、海面下3m>



<高潮後3時、海底面上1m>

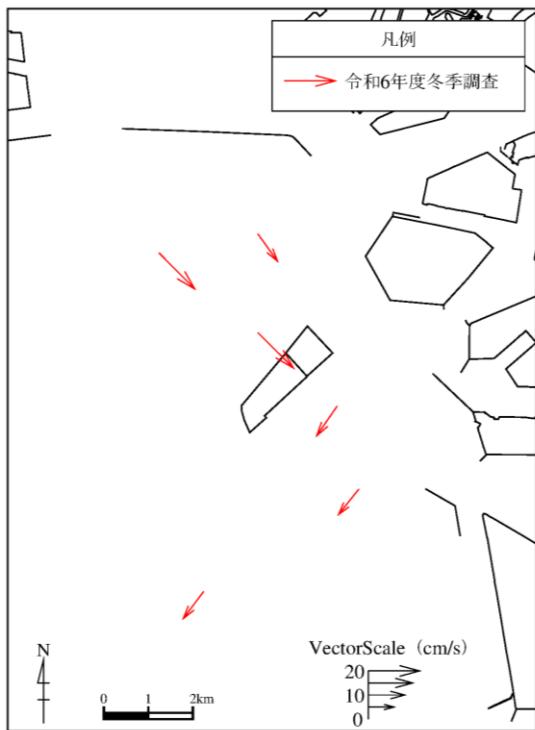


流況様式第1号

流況調査結果（潮流）[令和7年2月分]

調査期間：令和7年2月12日～26日

<低潮前2時、海面下1m>



<低潮前2時、海面下6m>



<低潮前2時、海面下3m>



<低潮前2時、海底面上1m>

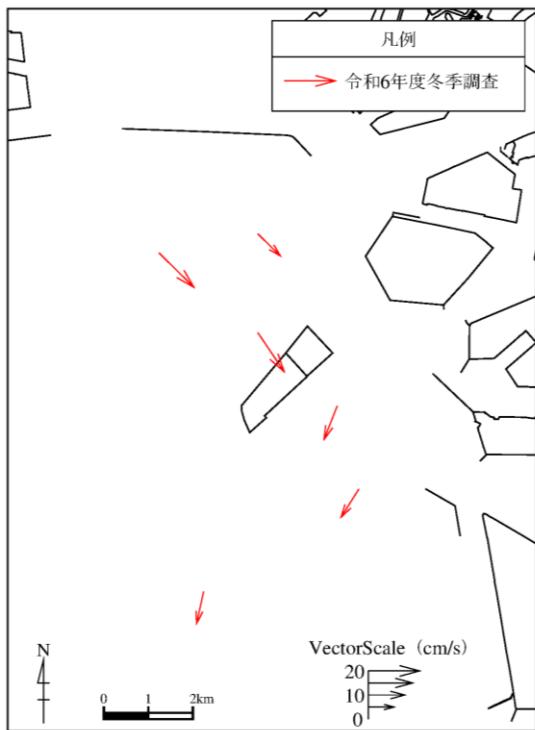


流況様式第1号

流況調査結果（潮流）[令和7年2月分]

調査期間：令和7年2月12日～26日

<低潮前1時、海面下1m>



<低潮前1時、海面下6m>



<低潮前1時、海面下3m>



<低潮前1時、海底面上1m>



流況様式第1号

流況調査結果（潮流）[令和7年2月分]

調査期間：令和7年2月12日～26日

<低潮時、海面下1m>



<低潮時、海面下6m>



<低潮時、海面下3m>



<低潮時、海底面上1m>

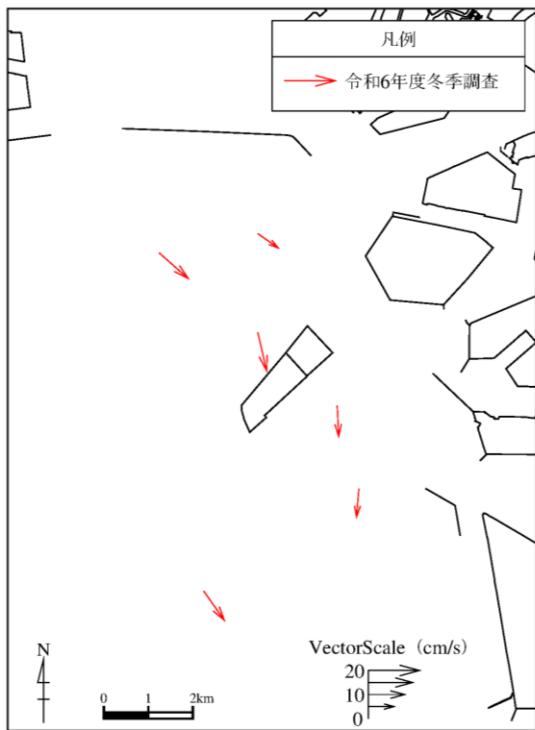


流況様式第1号

流況調査結果（潮流）[令和7年2月分]

調査期間：令和7年2月12日～26日

<低潮後1時、海面下1m>



<低潮後1時、海面下6m>



<低潮後1時、海面下3m>



<低潮後1時、海底面上1m>

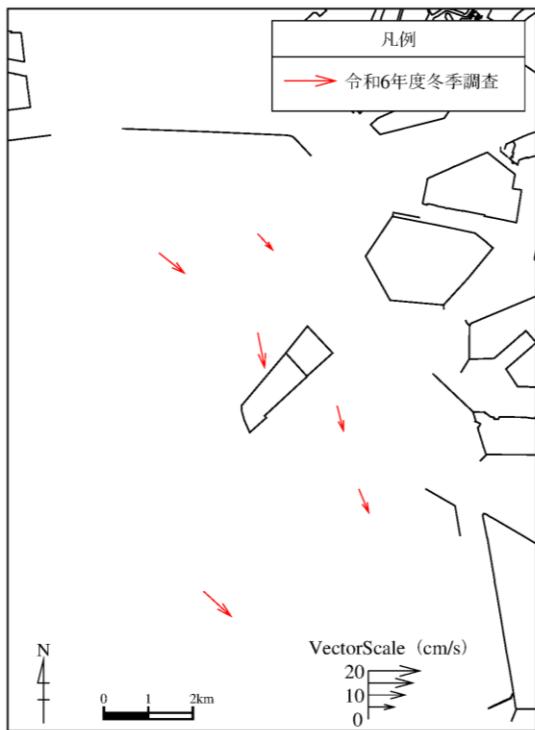


流況様式第1号

流況調査結果（潮流）[令和7年2月分]

調査期間：令和7年2月12日～26日

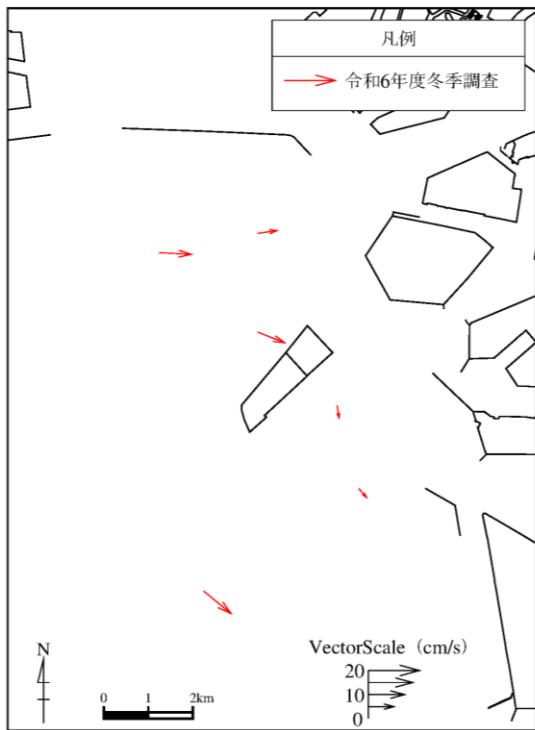
<低潮後2時、海面下1m>



<低潮後2時、海面下6m>



<低潮後2時、海面下3m>



<低潮後2時、海底面上1m>

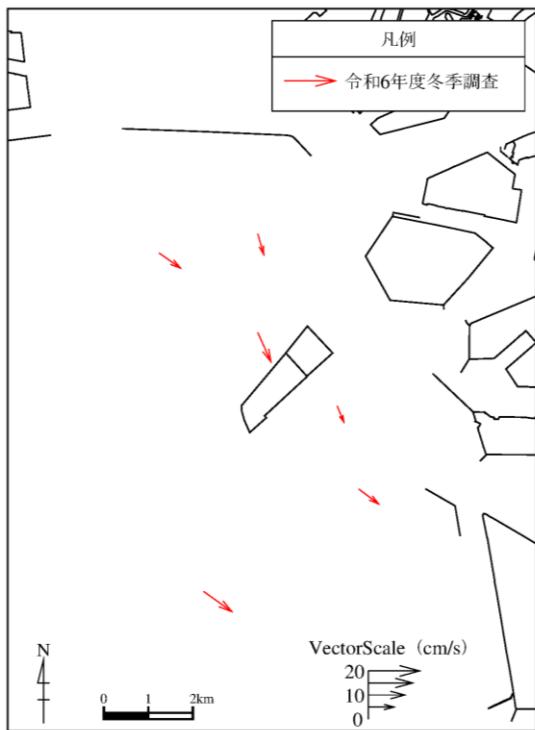


流況様式第1号

流況調査結果（潮流）[令和7年2月分]

調査期間：令和7年2月12日～26日

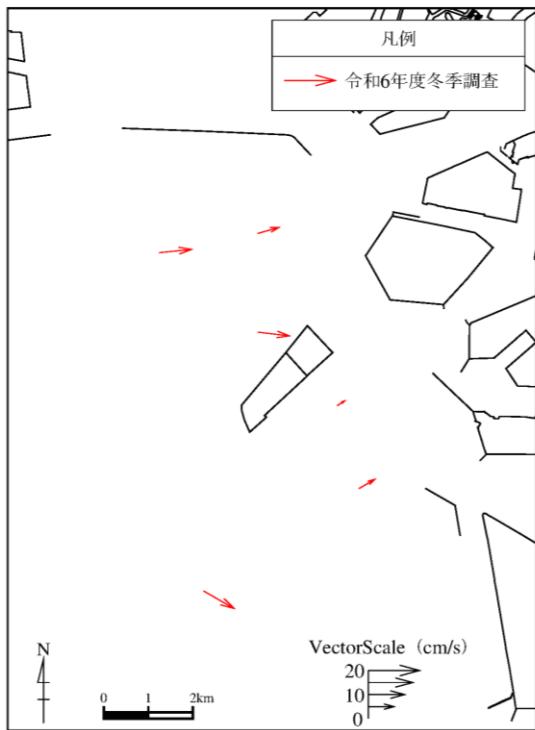
<低潮後3時、海面下1m>



<低潮後3時、海面下6m>



<低潮後3時、海面下3m>



<低潮後3時、海底面上1m>

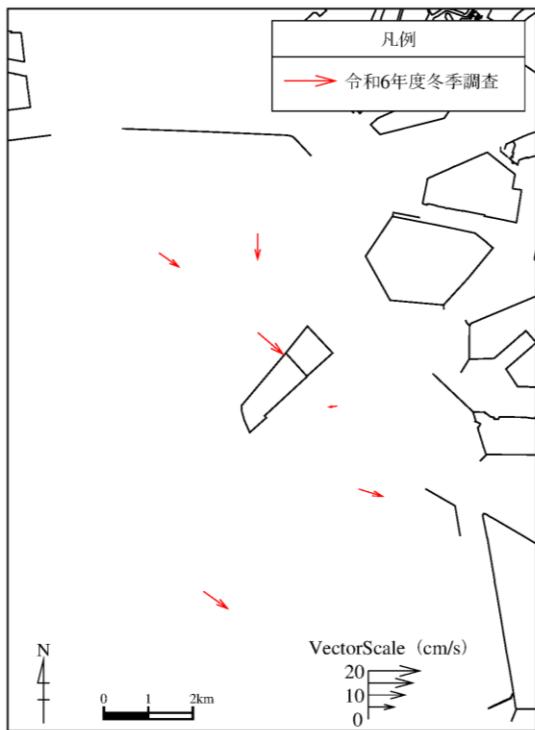


流況様式第1号

流況調査結果（潮流）[令和7年2月分]

調査期間：令和7年2月12日～26日

<高潮前2時、海面下1m>



<高潮前2時、海面下6m>



<高潮前2時、海面下3m>



<高潮前2時、海底面上1m>

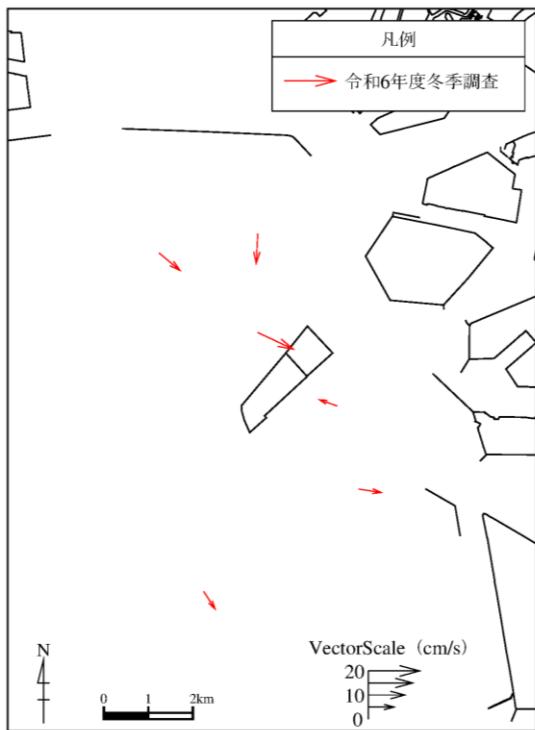


流況様式第1号

流況調査結果（潮流）[令和7年2月分]

調査期間：令和7年2月12日～26日

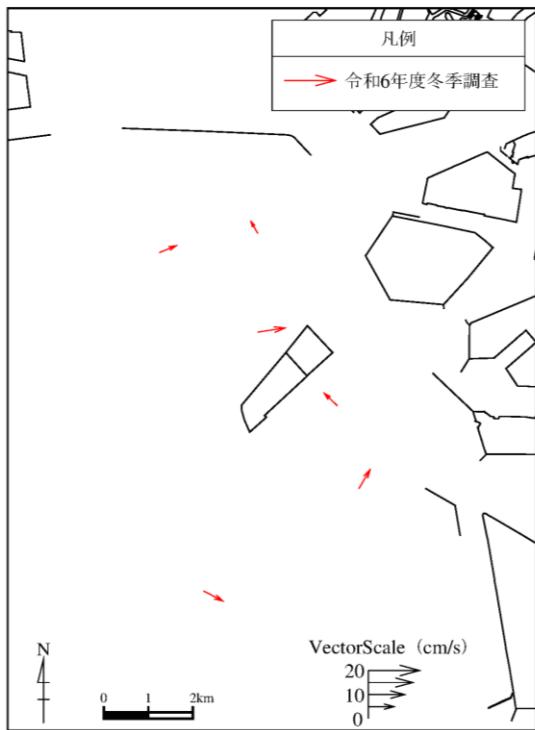
<高潮前1時、海面下1m>



<高潮前1時、海面下6m>



<高潮前1時、海面下3m>



<高潮前1時、海底面上1m>



流況様式第2号

流況調査結果（恒流）[令和7年2月分]

調査期間：令和7年2月12日～26日

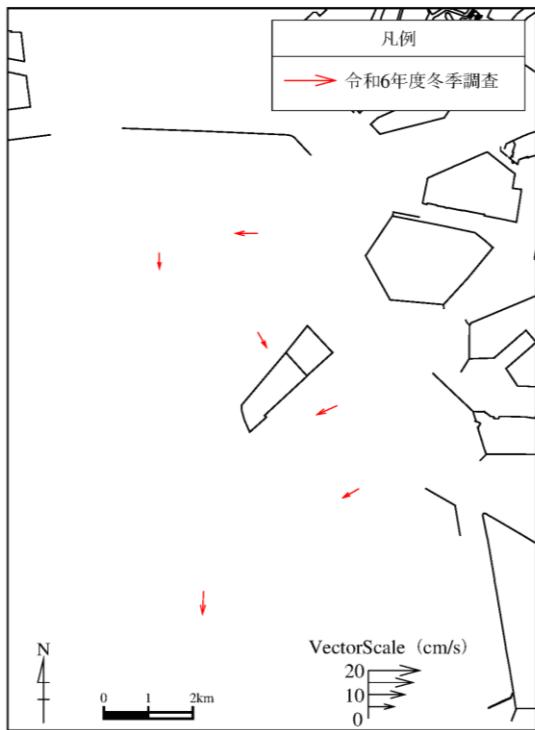
<平均流、海面下1m>



<平均流、海面下6m>



<平均流、海面下3m>



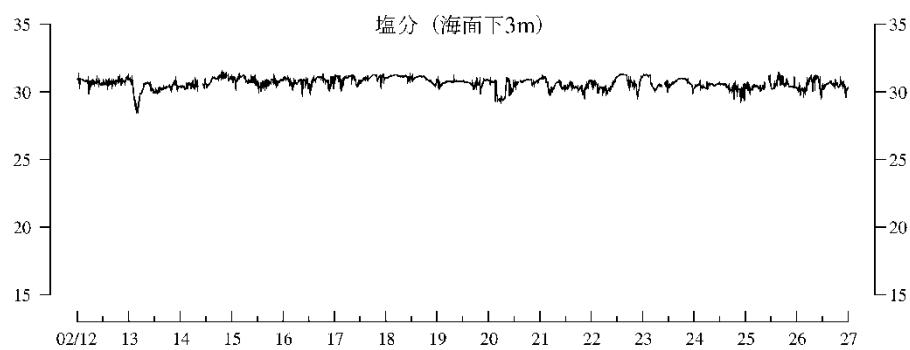
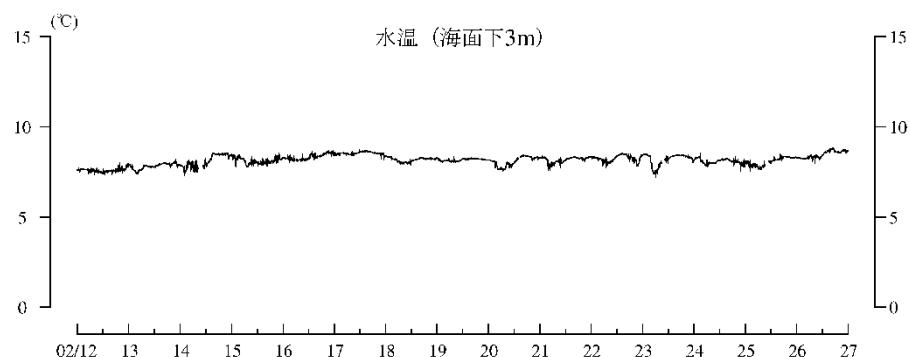
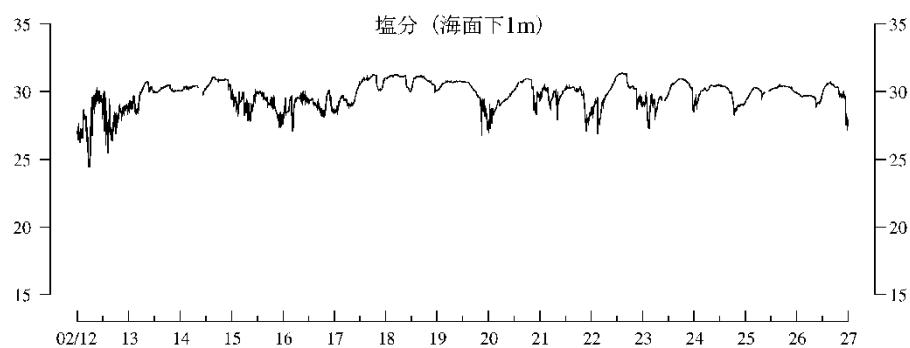
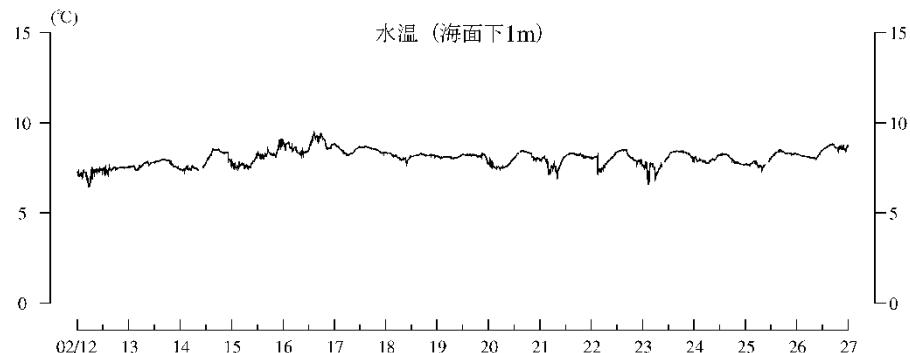
<平均流、海底面上1m>



流況様式第3号

流況調査結果（水温、塩分）[令和7年2月分]

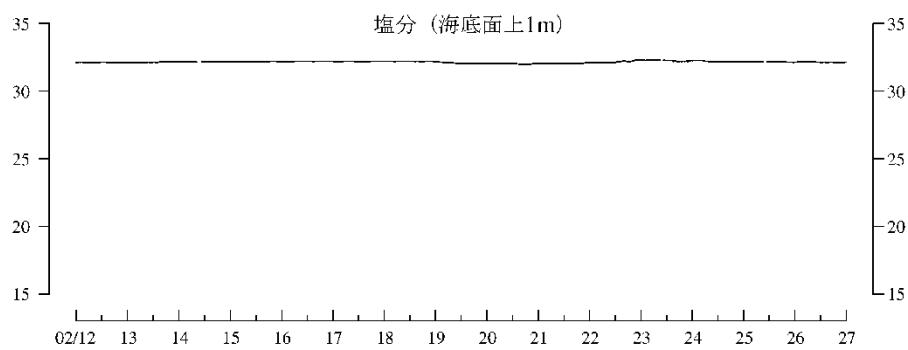
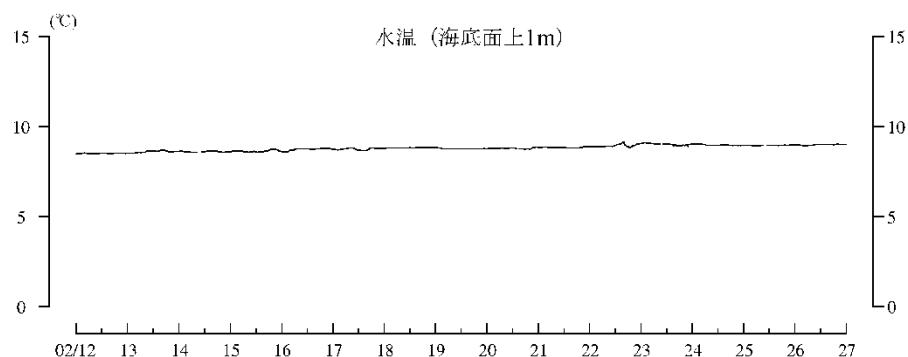
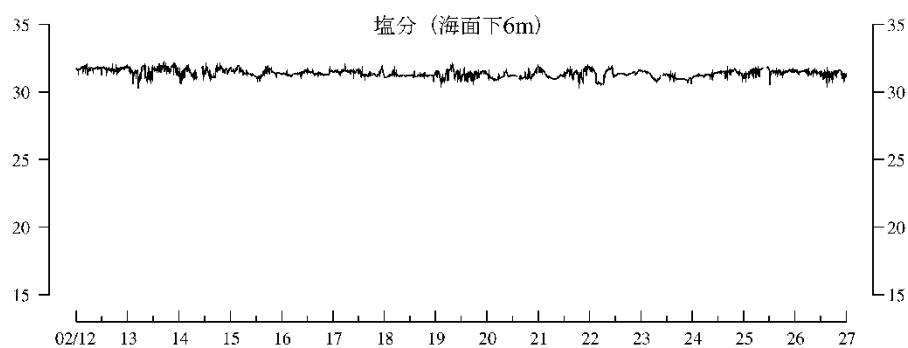
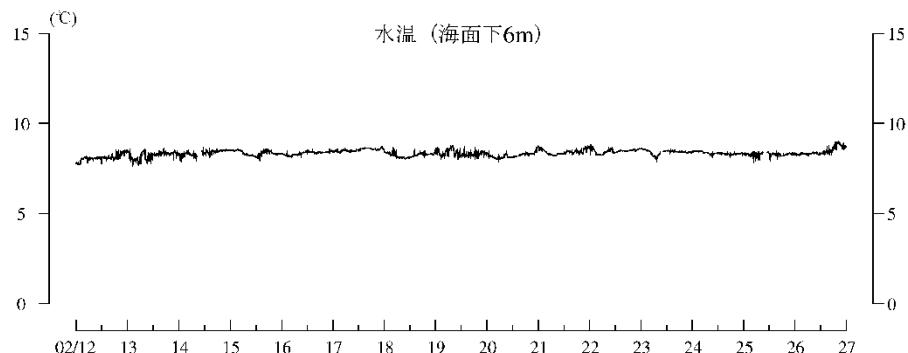
調査点1 調査期間：令和7年2月12日～26日



流況様式第3号

流況調査結果（水温、塩分）[令和7年2月分]

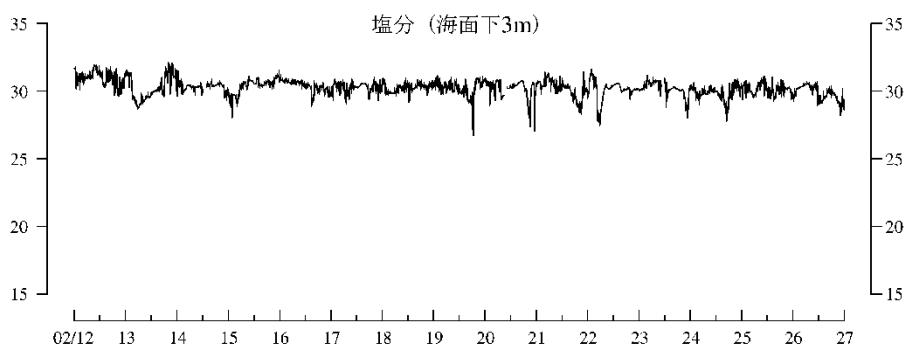
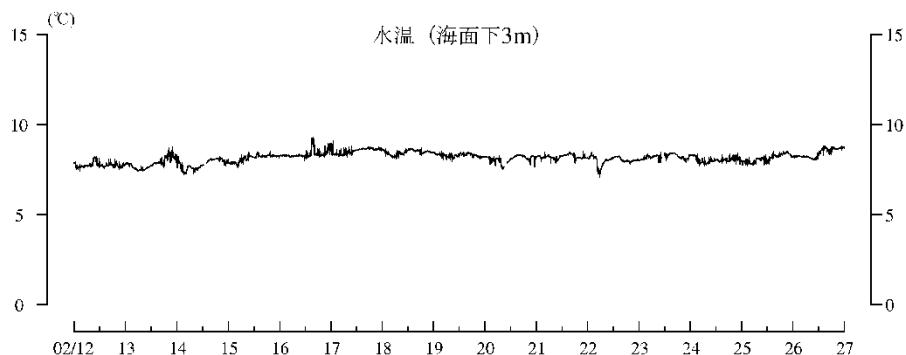
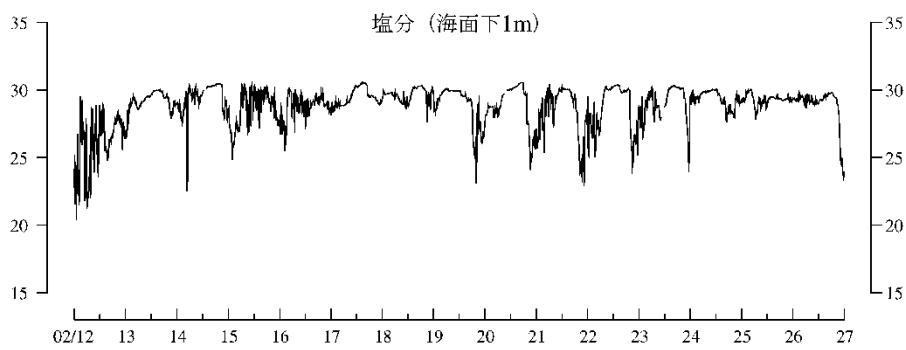
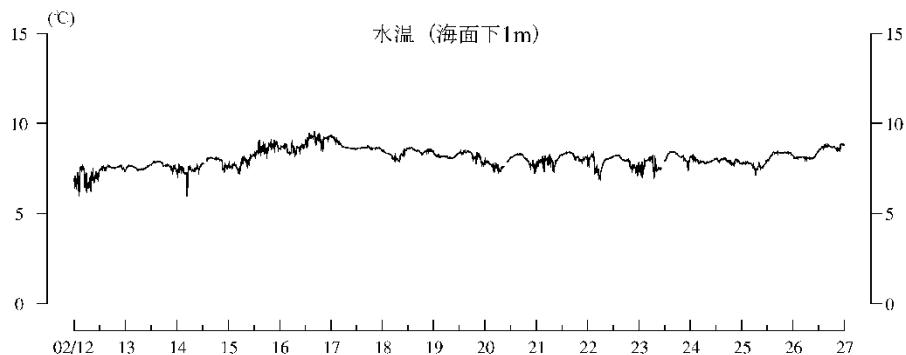
調査点1 調査期間：令和7年2月12日～26日



流況様式第3号

流況調査結果（水温、塩分）[令和7年2月分]

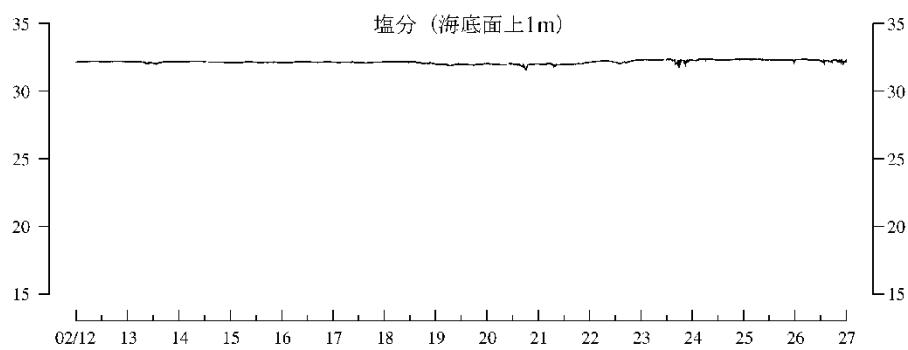
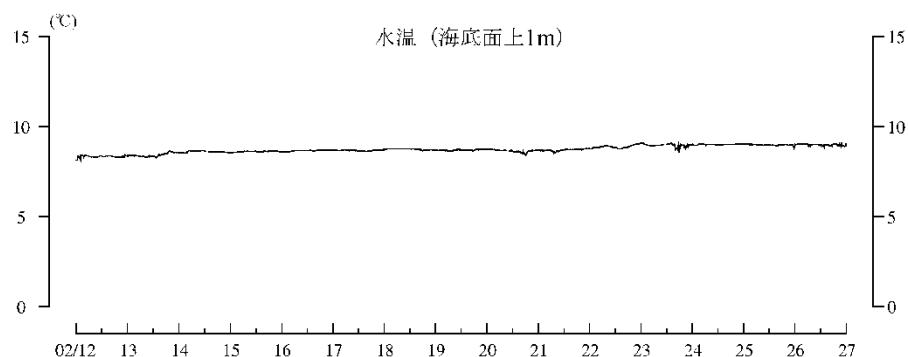
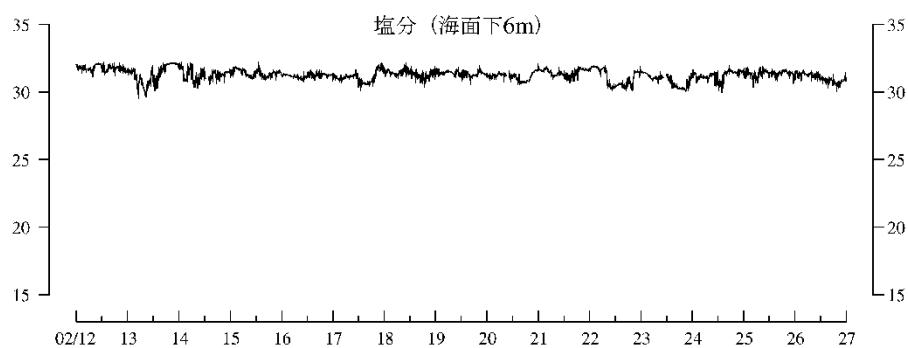
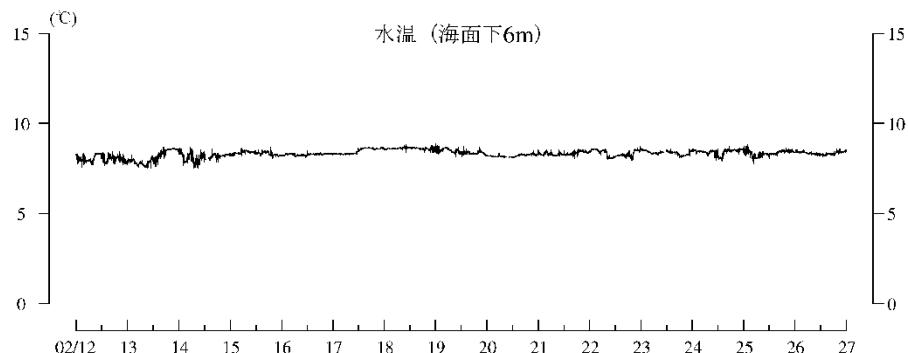
調査点2 調査期間：令和7年2月12日～26日



流況様式第3号

流況調査結果（水温、塩分）[令和7年2月分]

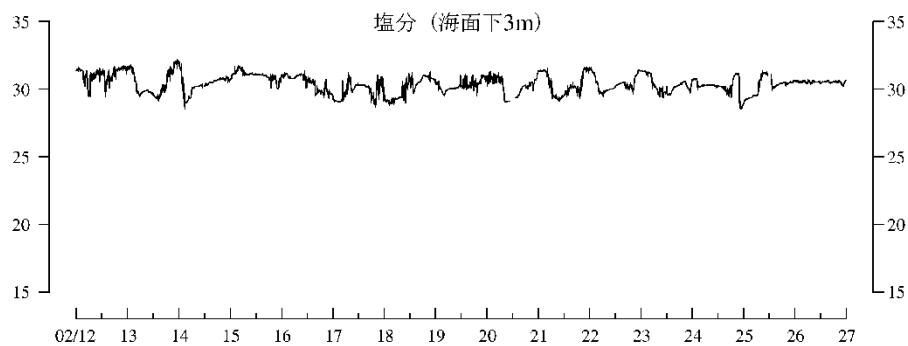
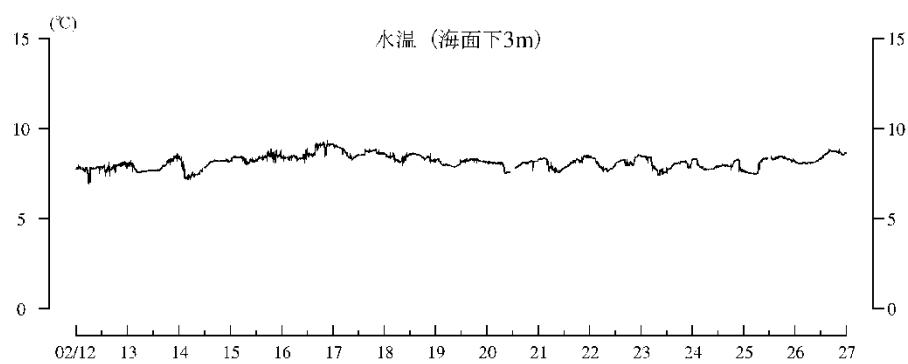
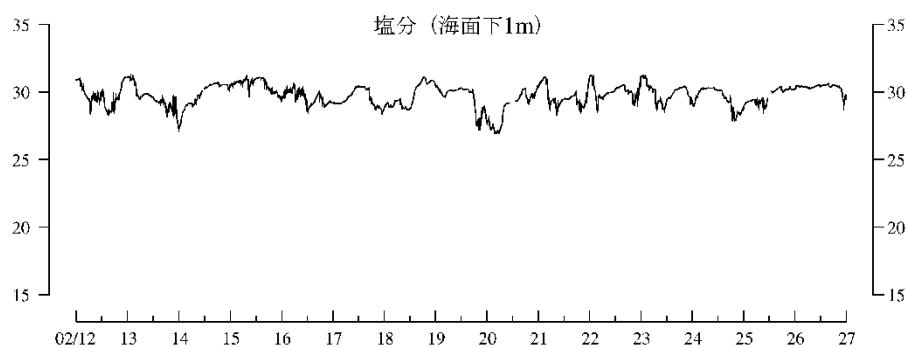
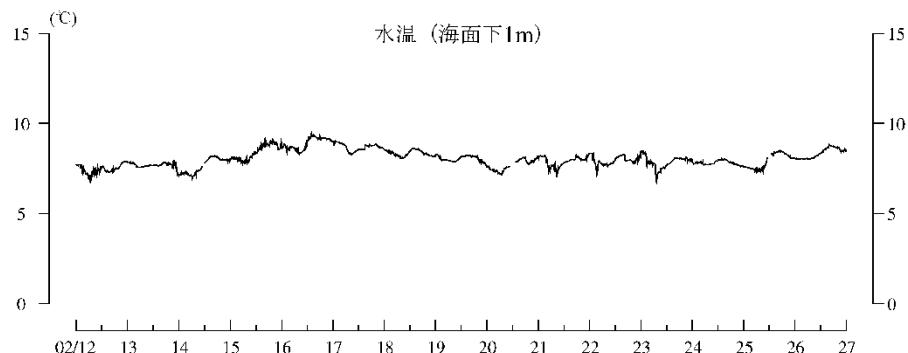
調査点2 調査期間：令和7年2月12日～26日



流況様式第3号

流況調査結果（水温、塩分）[令和7年2月分]

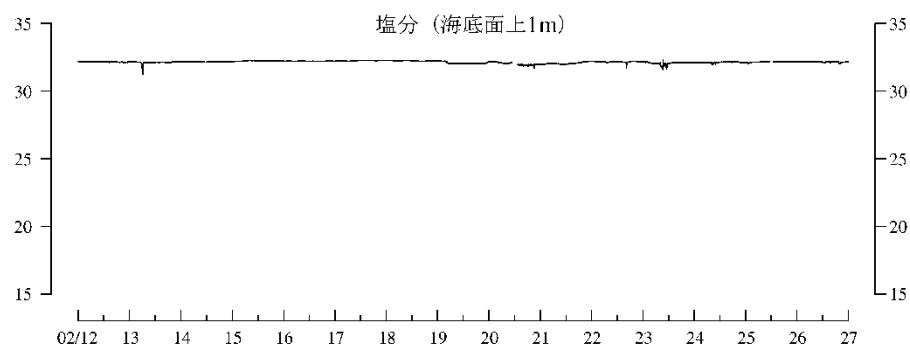
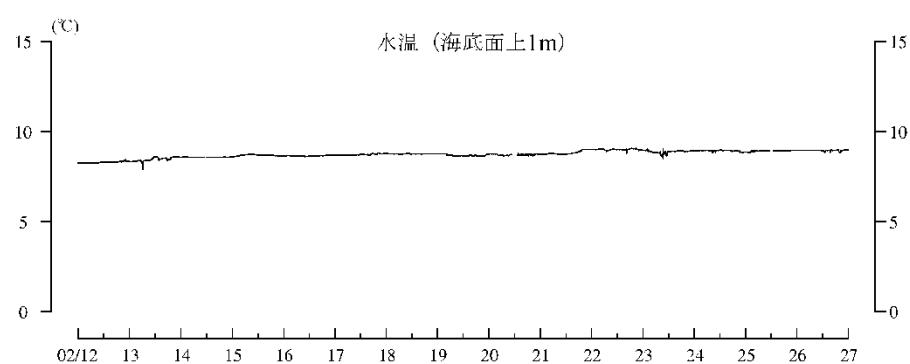
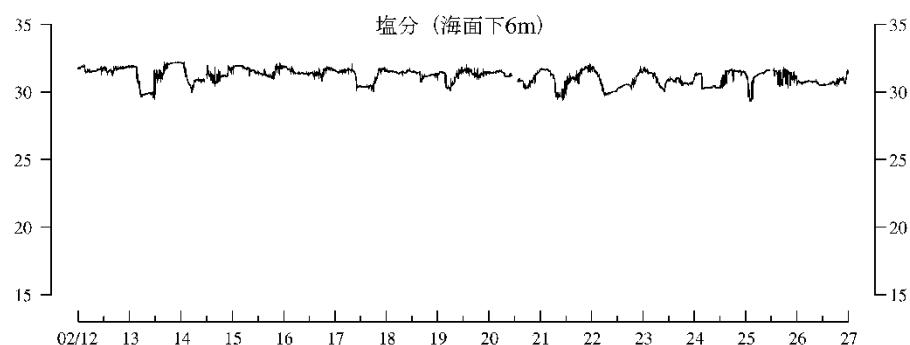
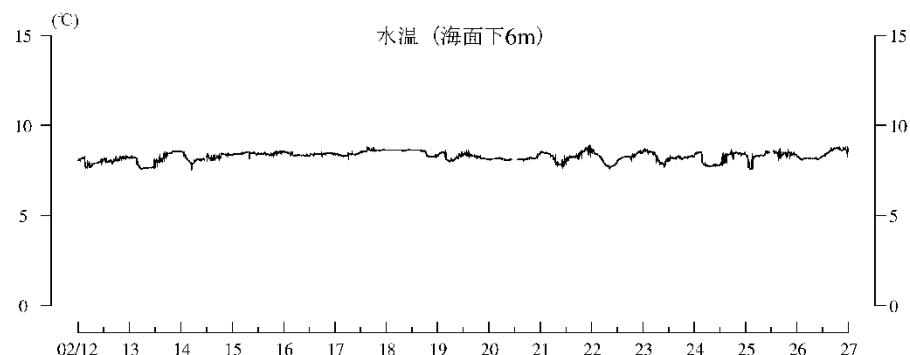
調査点3 調査期間：令和7年2月12日～26日



流況様式第3号

流況調査結果（水温、塩分）[令和7年2月分]

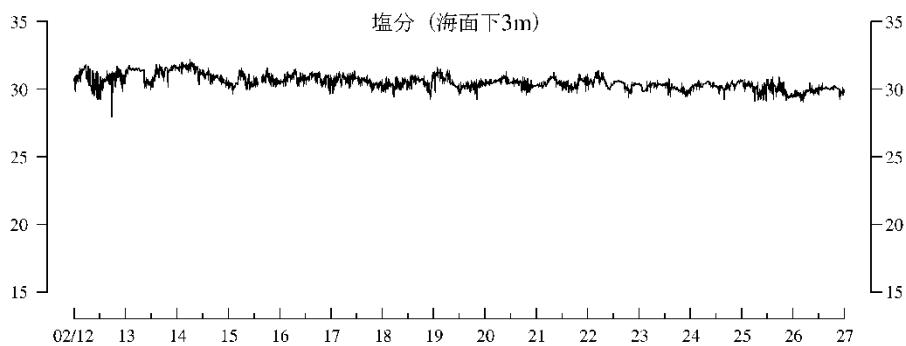
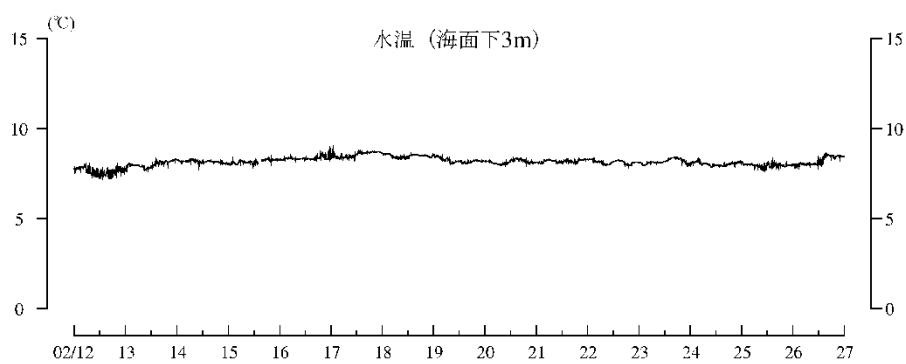
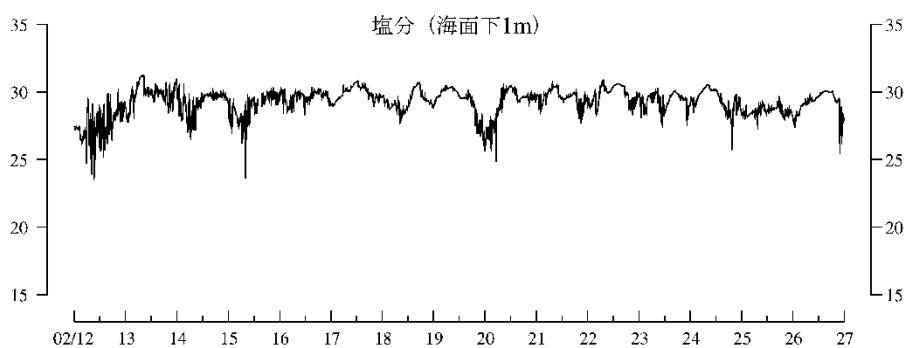
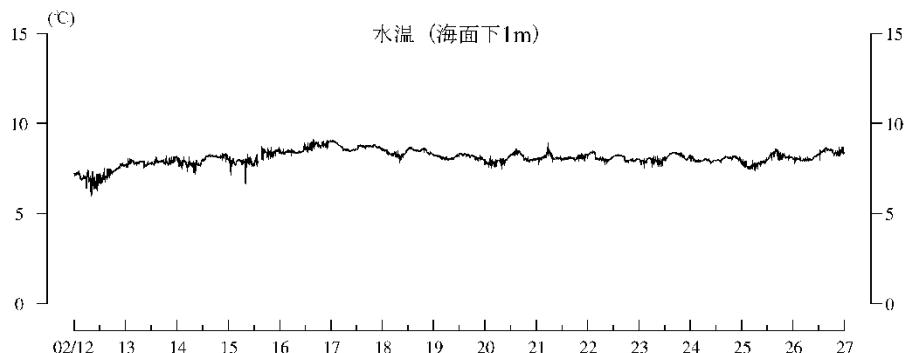
調査点3 調査期間：令和7年2月12日～26日



流況様式第3号

流況調査結果（水温、塩分）[令和7年2月分]

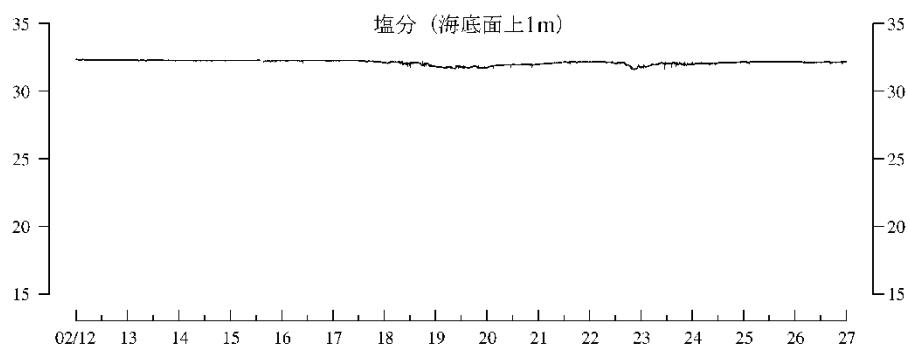
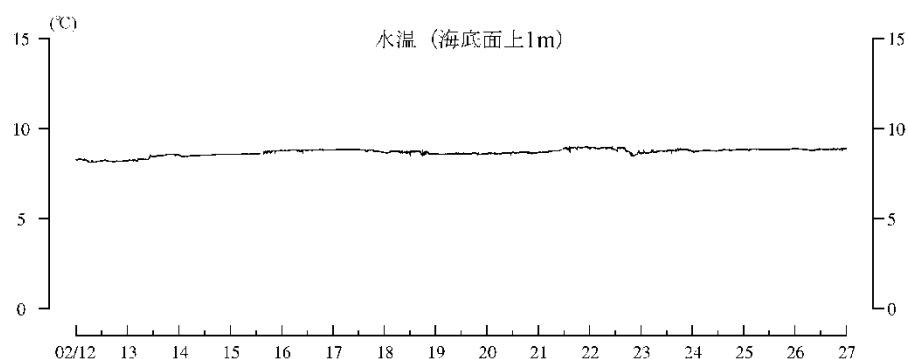
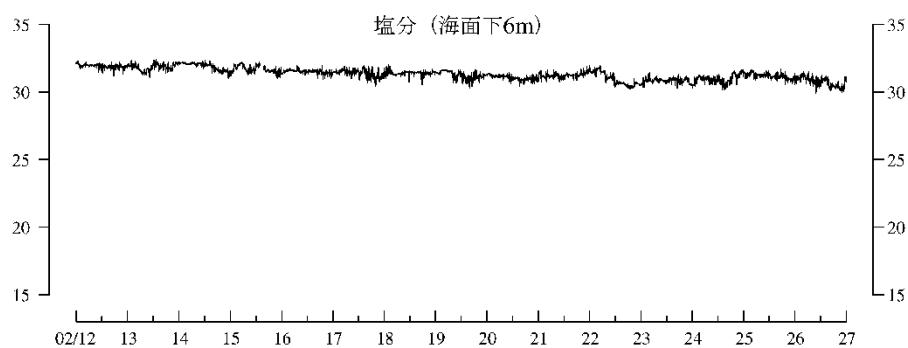
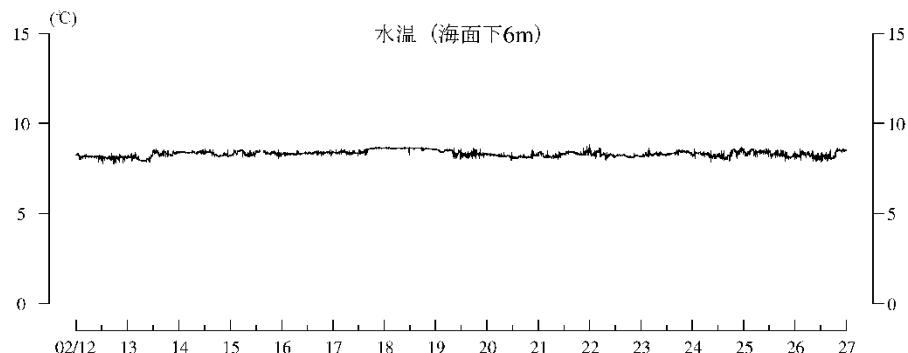
調査点4 調査期間：令和7年2月12日～26日



流況様式第3号

流況調査結果（水温、塩分）[令和7年2月分]

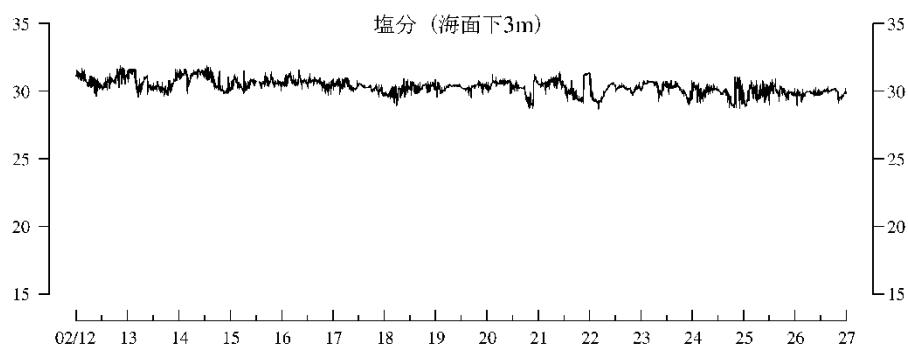
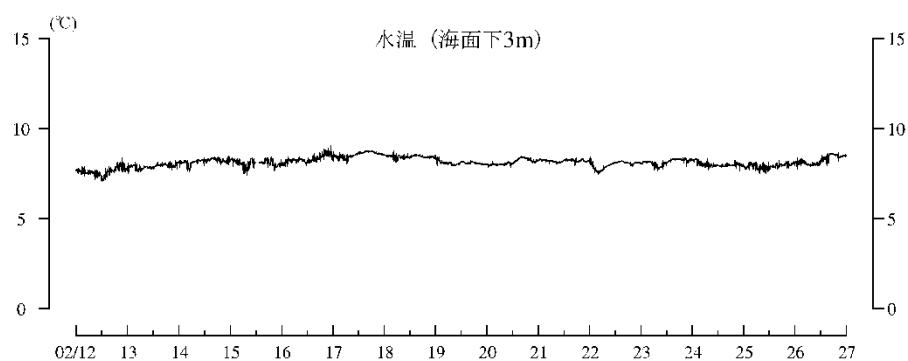
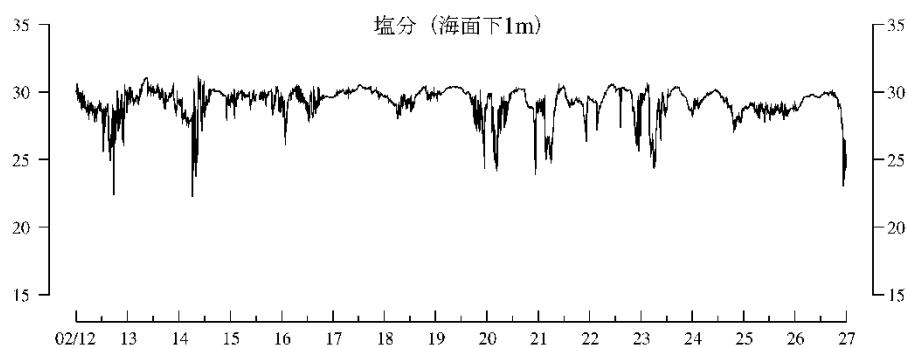
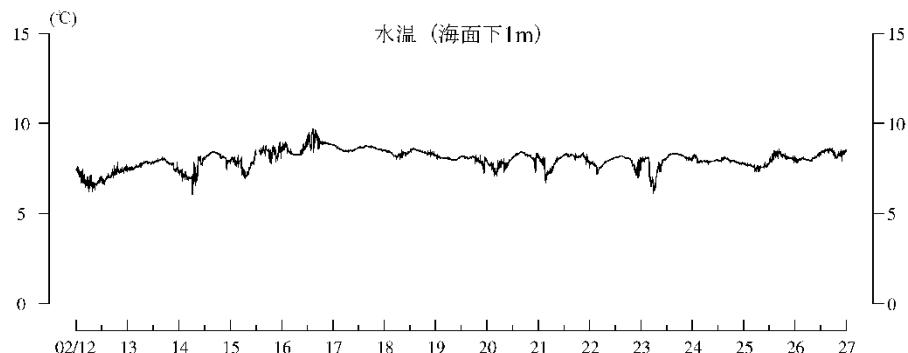
調査点4 調査期間：令和7年2月12日～26日



流況様式第3号

流況調査結果（水温、塩分）[令和7年2月分]

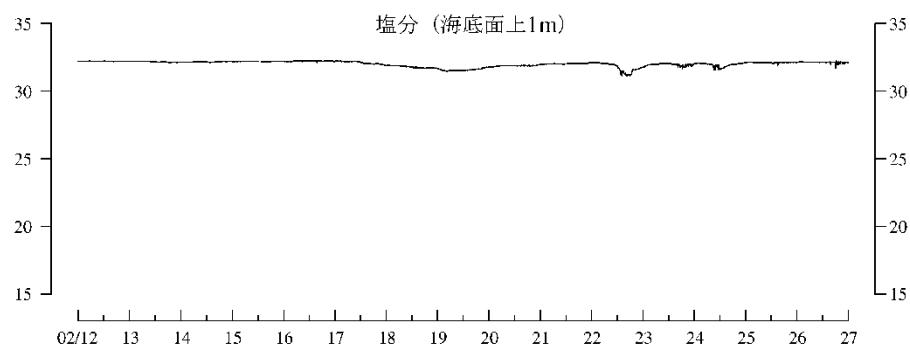
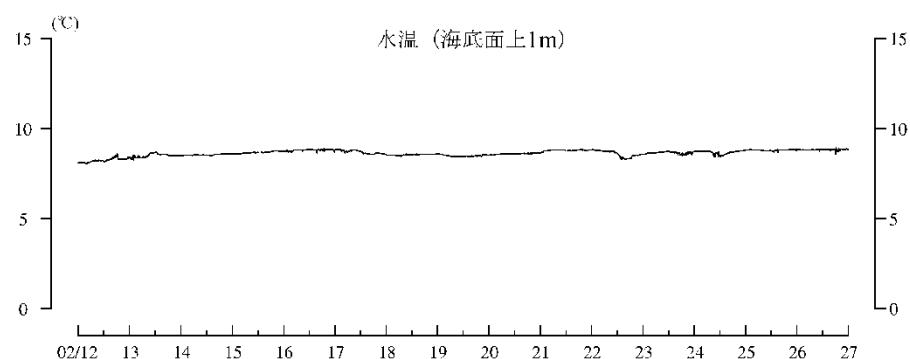
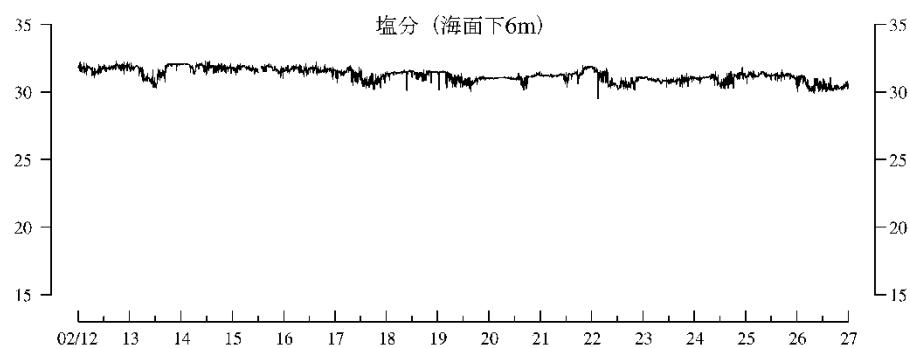
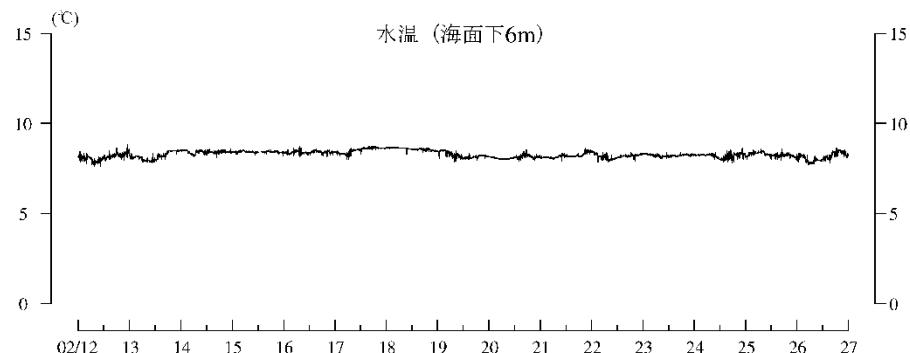
調査点5 調査期間：令和7年2月12日～26日



流況様式第3号

流況調査結果（水温、塩分）[令和7年2月分]

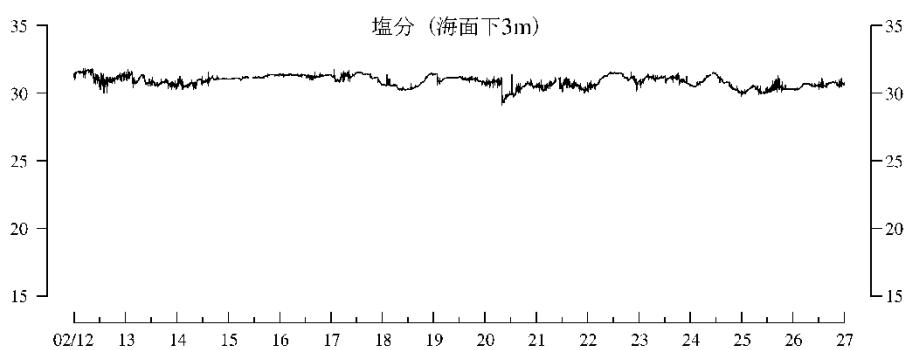
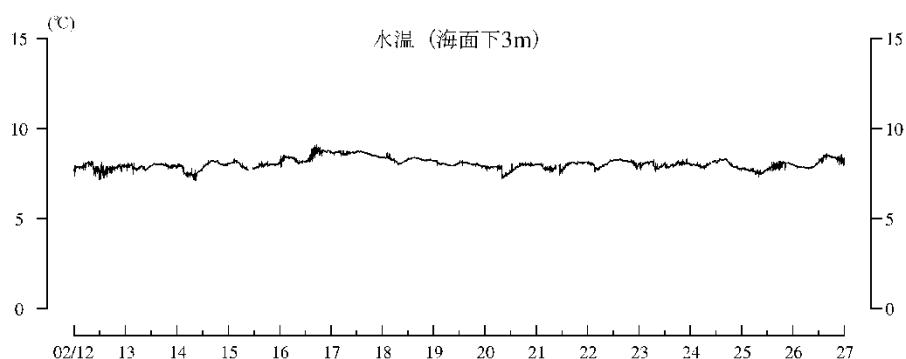
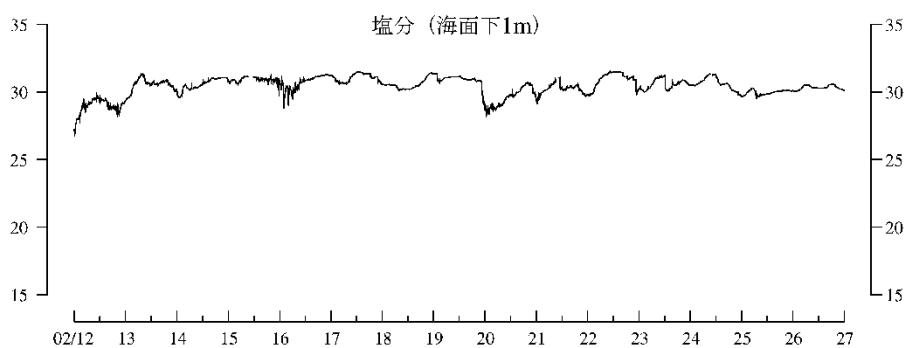
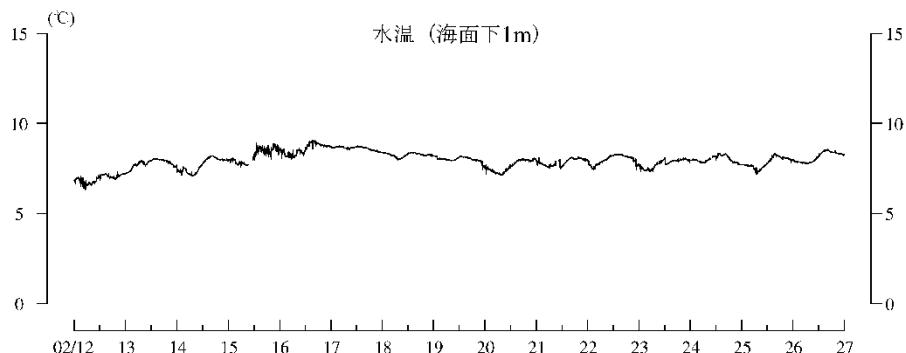
調査点5 調査期間：令和7年2月12日～26日



流況様式第3号

流況調査結果（水温、塩分）[令和7年2月分]

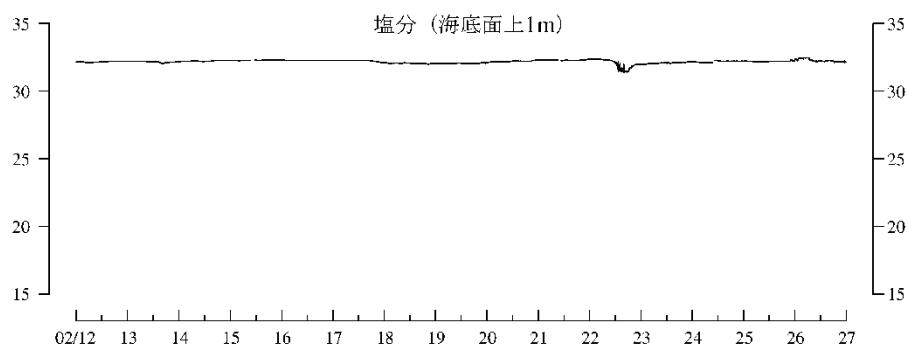
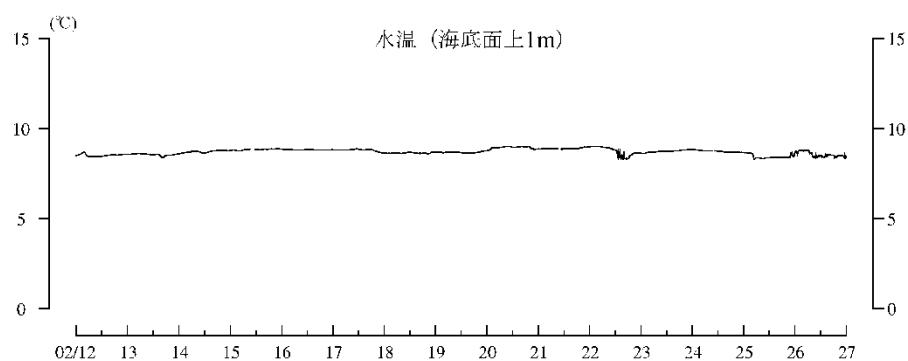
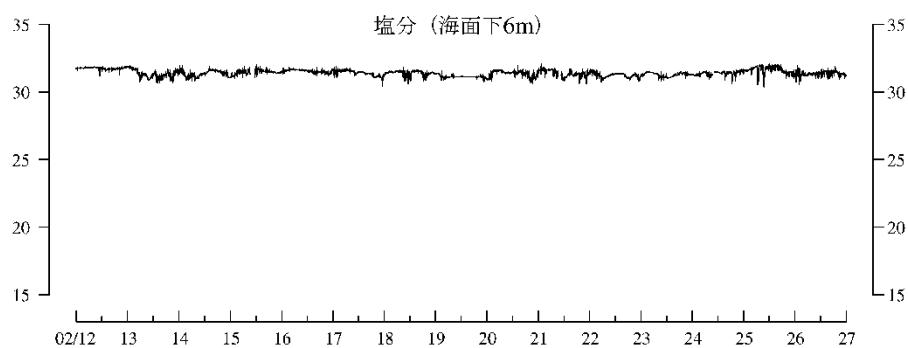
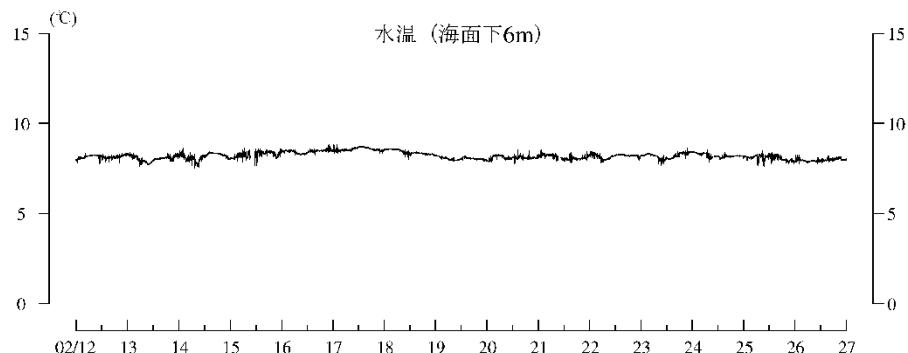
調査点6 調査期間：令和7年2月12日～26日



流況様式第3号

流況調査結果（水温、塩分）[令和7年2月分]

調査点6 調査期間：令和7年2月12日～26日



植物プランクトン調査結果 (1) [令和7年2月分]

調査日：令和7年2月12日

項目	調査点	
	上層	下層
種類数	69	60
細胞数 [cells/L]	17,064,300	428,600
沈殿量 [mL/L]	0.28	0.12
主要種 細胞数 [%]	<i>Skeletonema costatum</i> complex 16,209,100 (95.0)	<i>Skeletonema costatum</i> complex 264,000 (61.6) <i>Pseudo-nitzschia</i> sp. (cf. <i>pungens</i>) 67,400 (15.7)
項目	調査点	
	上層	下層
種類数	59	66
細胞数 [cells/L]	11,833,100	949,700
沈殿量 [mL/L]	0.17	0.32
主要種 細胞数 [%]	<i>Skeletonema costatum</i> complex 11,365,800 (96.1)	<i>Skeletonema costatum</i> complex 624,000 (65.7) <i>Pseudo-nitzschia</i> sp. (cf. <i>pungens</i>) 143,600 (15.1)
項目	調査点	
	上層	下層
種類数	59	66
細胞数 [cells/L]	15,106,800	1,638,600
沈殿量 [mL/L]	0.19	0.79
主要種 細胞数 [%]	<i>Skeletonema costatum</i> complex 14,610,200 (96.7)	<i>Skeletonema costatum</i> complex 931,000 (56.8) <i>Pseudo-nitzschia</i> sp. (cf. <i>pungens</i>) 279,200 (17.0)

注) 1. 平均欄の種類数は、総種類数を示す。

2. 主要種は、各調査点・各層での上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。

植物プランクトン調査結果（2） [令和7年2月分]

調査日：令和7年2月12日

項目	調査点		5
	上層	下層	
種類数	59	73	
細胞数 [cells/L]	9,207,000	1,329,000	
沈殿量 [mL/L]	0.14	0.40	
主要種 細胞数 [%]	<i>Skeletonema costatum</i> complex 8,811,300 (95.7)	<i>Skeletonema costatum</i> complex 716,800 (53.9) <i>Pseudo-nitzschia</i> sp. (cf. <i>pungens</i>) 256,000 (19.3)	

項目	調査点		平均
	上層	下層	
種類数	98	92	
細胞数 [cells/L]	13,302,800	1,086,475	
沈殿量 [mL/L]	0.20	0.41	
主要種 細胞数 [%]	<i>Skeletonema costatum</i> complex 12,749,100 (95.8)	<i>Skeletonema costatum</i> complex 633,950 (58.3) <i>Pseudo-nitzschia</i> sp. (cf. <i>pungens</i>) 186,550 (17.2)	

- 注) 1. 平均欄の種類数は、総種類数を示す。
 2. 主要種は、各調査点・各層での上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。

動物プランクトン調査結果 [令和7年2月分]

調査日：令和7年2月12日

項目	調査点	2	3
種類数		19	17
個体数 [個体/ m^3]		47,671	63,916
沈殿量 [mL/m^3]		19.0	13.5
主要種 個体数 [%]	<i>Evadne nordmanni</i> 15,342 (32.2) <i>nauplius of COPEPODA</i> 7,671 (16.1) <i>Oikopleura sp.</i> 7,671 (16.1)	<i>Evadne nordmanni</i> 35,510 (55.6) <i>Podon polypphemoides</i> 7,347 (11.5)	

項目	調査点	4	5
種類数		13	14
個体数 [個体/ m^3]		36,131	48,982
沈殿量 [mL/m^3]		14.6	14.7
主要種 個体数 [%]	<i>Evadne nordmanni</i> 16,393 (45.4) <i>Podon polypphemoides</i> 5,377 (14.9) <i>nauplius of COPEPODA</i> 5,377 (14.9)	<i>Evadne nordmanni</i> 24,262 (49.5) <i>Podon polypphemoides</i> 7,213 (14.7) <i>nauplius of COPEPODA</i> 6,098 (12.4)	

項目	調査点	平均
種類数		21
個体数 [個体/ m^3]		49,175
沈殿量 [mL/m^3]		15.5
主要種 個体数 [%]	<i>Evadne nordmanni</i> 22,877 (46.5) <i>nauplius of COPEPODA</i> 6,215 (12.6) <i>Podon polypphemoides</i> 5,341 (10.9)	

注) 1. 平均欄の種類数は、総種類数を示す。
 2. 主要種は各調査点での上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。

底生生物調査結果（1） [令和7年2月分]

調査日：令和7年2月12日

項目	調査点	2	3	4
泥温 [℃]		9.2	9.8	9.1
種類数	軟体動物門	5	1	1
	環形動物門	8	6	7
	節足動物門	1		
	その他の			
	合 計	14	7	8
個体数	軟体動物門	11	5	2
	環形動物門	208	90	58
	節足動物門	1		
	その他の			
	合 計	220	95	60
個体数 組成比 [%]	軟体動物門	5.0	5.3	3.3
	環形動物門	94.5	94.7	96.7
	節足動物門	0.5		
	その他の			
	合 計	100.0	100.0	100.0
湿重量 [g]	軟体動物門	0.15	0.04	0.13
	環形動物門	3.40	2.66	1.48
	節足動物門	0.01		
	その他の			
	合 計	3.56	2.70	1.61
主要種 個体数[%]	シノフ [♂] ハネエラスピ [♂] オ	188 (85.5)	シノフ [♂] ハネエラスピ [♂] オ	シノフ [♂] ハネエラスピ [♂] オ
			77 (81.1)	48 (80.0)

注) 1. 個体数、湿重量は0.1m²当たりで示す。

2. 主要種は各調査点での個体数の上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。

底生生物調査結果（2） [令和7年2月分]

調査日：令和7年2月12日

項目	調査点	5	平均
泥温 [°C]		8.9	9.3
種類数	軟体動物門	2	6
	環形動物門	7	12
	節足動物門		1
	その他の		
	合 計	9	19
個体数	軟体動物門	3	5
	環形動物門	80	109
	節足動物門		<1
	その他の		
	合 計	83	115
個体数 組成比 [%]	軟体動物門	3.6	4.6
	環形動物門	96.4	95.2
	節足動物門		0.2
	その他の		
	合 計	100.0	100.0
湿重量 [g]	軟体動物門	6.64	1.74
	環形動物門	1.56	2.28
	節足動物門		+
	その他の		
	合 計	8.20	4.02
主要種 個体数 [%]		ハメガキコガエ 39 (47.0) シノブハネラスピオ 32 (38.6)	シノブハネラスピオ 86 (75.3) ハメガキコガエ 12 (10.3)

注) 1. 平均欄の種類数は、総種類数を示す。

2. 個体数、湿重量は0.1m²当たりで示す。湿重量が0.01g未満の場合、湿重量は+で示す。

3. 主要種は各調査点での個体数の上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。

付着生物調査結果（付着植物）(1) [令和7年2月分]

調査日：令和7年2月16日

項目	調査点 層	ア			平均
		上層	中層	下層	
種類数	緑藻綱	3	2	2	3
	褐藻綱				
	紅藻綱	4	2	2	4
	その他の				
	合 計	7	4	4	7
湿重量 [g]	緑藻綱	5.08	3.46	1.14	3.23
	褐藻綱				
	紅藻綱	0.07	0.01	26.86	8.98
	その他の				
	合 計	5.15	3.47	28.00	12.21
湿重量 組成比 [%]	緑藻綱	98.6	99.7	4.1	26.4
	褐藻綱				
	紅藻綱	1.4	0.3	95.9	73.6
	その他の				
	合 計	100.0	100.0	100.0	100.0
主要種 湿重量[%]		アオサ属 4.88 (94.8)	シオグサ属 3.32 (95.7)	イトグサ属 25.20 (90.0)	イトグサ属 8.40 (68.8) アオサ属 1.96 (16.1) シオグサ属 1.26 (10.3)

- 注) 1. 平均欄の種類数は、総種類数を示す。
 2. 湿重量は0.1m²当たりで示す。湿重量が0.01g未満の場合、または、湿重量組成比が0.1%未満の場合、
 湿重量及び湿重量組成比は+で示す。
 3. 主要種は各調査点・各層での上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。
 4. 上層：平均水面 中層：大潮期最低潮面 下層：大潮期最低潮面-1mである。

付着生物調査結果（付着植物）(2)

[令和7年2月分]

調査日：令和7年2月16日

項目	調査点 層	イ			平均
		上層	中層	下層	
種類数	緑藻綱	3	2	2	3
	褐藻綱		1		1
	紅藻綱	2	3	5	5
	その他の	1		1	2
	合 計	6	6	8	11
湿重量 [g]	緑藻綱	0.74	3.50	0.17	1.47
	褐藻綱		0.01		+
	紅藻綱	0.22	+	45.69	15.30
	その他の	+		0.01	+
	合 計	0.96	3.51	45.87	16.78
湿重量 組成比 [%]	緑藻綱	77.1	99.7	0.4	8.8
	褐藻綱		0.3		+
	紅藻綱	22.9	+	99.6	91.2
	その他の	+		+	+
	合 計	100.0	100.0	100.0	100.0
主要種 湿重量[%]		シオグサ属 0.51 (53.1)	シオグサ属 1.80 (51.3)	イトグサ属 40.39 (88.1)	イトグサ属 13.48 (80.3)
		アオサ属 0.21 (21.9)	アオサ属 1.70 (48.4)	フタツガサネ属 4.97 (10.8)	
		アマノリ属 0.18 (18.8)			

注) 1. 平均欄の種類数は、総種類数を示す。

2. 湿重量は0.1m²当たりで示す。湿重量が0.01g未満の場合、または、湿重量組成比が0.1%未満の場合、湿重量及び湿重量組成比は+で示す。

3. 主要種は各調査点・各層での上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。

4. 上層：平均水面 中層：大潮期最低潮面 下層：大潮期最低潮面-1mである。

付着生物調査結果（付着動物）(1)

[令和7年2月分]

調査日：令和7年2月16日

項目	調査点層	ア			平均
		上層	中層	下層	
種類数	軟体動物門	8	6	14	17
	環形動物門	8	14	20	24
	節足動物門	9	9	12	19
	その他の	5	8	12	14
	合 計	30	37	58	74
個体数	軟体動物門	1,044	1,653	1,112	1,270
	環形動物門	141	268	1,644	684
	節足動物門	392	1,597	1,662	1,217
	その他の	51	158	256	155
	合 計	1,628	3,676	4,674	3,326
個体数組成比 [%]	軟体動物門	64.1	45.0	23.8	38.2
	環形動物門	8.7	7.3	35.2	20.6
	節足動物門	24.1	43.4	35.6	36.6
	その他の	3.1	4.3	5.5	4.7
	合 計	100.0	100.0	100.0	100.0
湿重量 [g]	軟体動物門	75.48	81.61	50.49	69.19
	環形動物門	5.40	7.81	30.11	14.44
	節足動物門	8.89	163.27	6.79	59.65
	その他の	2.21	32.99	144.70	59.97
	合 計	91.98	285.68	232.09	203.25
主要種 個体数[%]		ウスカラシオツカイ 723 (44.4) モクスヨコエビ科 283 (17.4) コウロエンカリヒバリカイ 276 (17.0)	ウスカラシオツカイ 1,528 (41.6) タテソエビ属 822 (22.4) クビナガワレカラ 510 (13.9)	ウスカラシオツカイ 943 (20.2) カンサシコカイ科 616 (13.2) ウミミズムシ 584 (12.5)	ウスカラシオツカイ 1,065 (32.0) タテソエビ属 406 (12.2)

注) 1. 平均欄の種類数は、総種類数を示す。

2. 個体数、湿重量は0.1m²当たりで示す。湿重量が0.01g未満の場合、湿重量は+で示す。

3. 主要種は各調査点・各層での個体数の上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。

4. 上層：平均水面 中層：大潮期最低潮面 下層：大潮期最低潮面-1mである。

付着生物調査結果（付着動物）(2)

[令和7年2月分]

調査日：令和7年2月16日

項目	調査点層	イ			平均
		上層	中層	下層	
種類数	軟体動物門	16	8	9	21
	環形動物門	14	23	25	29
	節足動物門	17	15	18	25
	その他の	5	6	12	14
	合 計	52	52	64	89
個体数	軟体動物門	835	833	757	808
	環形動物門	109	438	824	457
	節足動物門	927	2,405	1,214	1,515
	その他の	116	415	532	354
	合 計	1,987	4,091	3,327	3,135
個体数組成比 [%]	軟体動物門	42.0	20.4	22.8	25.8
	環形動物門	5.5	10.7	24.8	14.6
	節足動物門	46.7	58.8	36.5	48.3
	その他の	5.8	10.1	16.0	11.3
	合 計	100.0	100.0	100.0	100.0
湿重量 [g]	軟体動物門	92.78	104.82	90.88	96.16
	環形動物門	6.19	9.24	12.57	9.33
	節足動物門	65.95	426.04	9.47	167.15
	その他の	4.10	16.10	31.21	17.14
	合 計	169.02	556.20	144.13	289.78
主要種 個体数[%]		モクシヨコエビ科 653 (32.9) ウスカラシオツカギ 485 (24.4) コウロエンカワヒバリカギ 272 (13.7)	タテヨコエビ属 769 (18.8) ウミミズムシ 702 (17.2) ウスカラシオツカギ 661 (16.2) アメリカフジツボ 594 (14.5)	ウミミズムシ Phoronis sp. 437 (13.1) コウロエンカワヒバリカギ 370 (11.1) ウスカラシオツカギ 370 (11.1)	ウミミズムシ 521 (16.6) ウスカラシオツカギ 505 (16.1)

注) 1. 平均欄の種類数は、総種類数を示す。

2. 個体数、湿重量は0.1m²当たりで示す。湿重量が0.01g未満の場合、湿重量は+で示す。

3. 主要種は各調査点・各層での個体数の上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。

4. 上層：平均水面 中層：大潮期最低潮面 下層：大潮期最低潮面-1mである。

付着生物調査結果（ムラサキイガイ現存量調査） [令和7年2月]

調査日：令和7年2月16日

①枠取り調査

項目	調査点		ア	イ	平均
		上位	2	1	2
個体数		中位	2	1	2
下位		0	1	<1	
湿重量[g]		上位	0.02	0.09	0.06
中位		0.05	+	0.03	
下位		0.00	1.72	0.86	

注) 個体数、湿重量は0.25m²当たりで示す。湿重量の+は0.01g未満を示す。

調査日：令和7年2月16日

②目視観察

水深[m]	調査点		ア	イ
	被度階級	層厚[mm]	被度階級	層厚[mm]
+1.0 ~ +0.5				
+0.5 ~ 0.0				
0.0 ~ -0.5				
-0.5 ~ -1.0				
-1.0 ~ -1.5				
-1.5 ~ -2.0				
-2.0 ~ -2.5				
-2.5 ~ -3.0				
-3.0 ~ -3.5				
-3.5 ~ -4.0				
-4.0 ~ -4.5				
-4.5 ~ -5.0				
-5.0 ~ -5.5				
-5.5 ~ -6.0				
-6.0 ~ -6.5				
-6.5 ~ -7.0				
-7.0 ~ -7.5				
-7.5 ~ -8.0				

注) 調査点ア、イでは出現しなかった。

水産生物調査結果（小型底曳網調査①）(1)

[令和7年2月分]

調査日：令和7年2月11日、25日

項目	調査点	3	4	7
種類数	魚類	5	6	5
	甲殻類(エビ・かに類)	3	4	3
	頭足類(イカ・タコ類)	1		
	その他		1	
	合計	9	11	8
個体数	魚類	6	17	13
	甲殻類(エビ・かに類)	11	50	10
	頭足類(イカ・タコ類)	1		
	その他		1	
	合計	18	68	23
湿重量 [g]	魚類	5,258.5	58.2	5,361.4
	甲殻類(エビ・かに類)	18.2	94.3	21.7
	頭足類(イカ・タコ類)	1.0		
	その他		55.0	
	合計	5,277.7	207.5	5,383.1
主要種 個体数[%]	スベースベエビ	7 (38.9)	スベースベエビ	アカエイ
	シャコ		24 (35.3)	7 (30.4)
	アカエビ	3 (16.7)	アカエビ	シャコ
	アカエイ	2 (11.1)	シャコ	5 (21.7)
			12 (17.6)	スベースベエビ
主要種 湿重量[%]	ハタタヌメリ		ハタタヌメリ	4 (17.4)
			11 (16.2)	テンシクタメイ
				3 (13.0)
	ヒラメ	4,710.1 (89.2)	シャコ	アカエイ
			75.3 (36.3)	5,350.4 (99.4)
主要種の 全長[cm] (平均値)	アカエイ		アカエイ	
	サルボウカイ			
	トリガイ			
	シャコ	7.1	7.9	6.5
	アカエビ		4.2	
	スベースベエビ	3.2	3.6	3.9
	アカエイ	36.7		54.8
	テンシクタメイ	3.4	5.2	4.5
	ハタタヌメリ	6.9	7.1	
	ネズミゴチ		6.8	8.4
	ヒラメ	78.2		
	アカシタヒラメ		15.8	
	イヌノシタ属			

注) 1. 個体数、湿重量は1網当たりで示す。

2. 平均欄の種類数は、総種類数を示す。

3. 主要種は各調査点での個体数または湿重量の上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。

4. 主要種の全長欄のニマカイ類は殻長を示す。

水産生物調査結果（小型底曳網調査①）(2) [令和7年2月分]

調査日：令和7年2月11日、25日

項目		調査点	8	9	平均
種類数	魚類	3	1	12	
	甲殻類(エビ・かに類)	2		7	
	頭足類(イカ・タコ類)			1	
	その他	4		4	
	合計	9	1	24	
個体数	魚類	5	1	8	
	甲殻類(エビ・かに類)	2		15	
	頭足類(イカ・タコ類)			<1	
	その他	9		2	
	合計	16	1	25	
湿重量 [g]	魚類	104.6	2.6	2,157.1	
	甲殻類(エビ・かに類)	1.0		27.0	
	頭足類(イカ・タコ類)			0.2	
	その他	84.2		27.8	
	合計	189.8	2.6	2,212.1	
主要種 個体数[%]		サルボウガダイ 5 (31.3) トリガダイ 2 (12.5) ネスマコチ 2 (12.5) イヌノシク属 2 (12.5)	イヌノシク属 1 (100.0)	スベスベエビ 7 (28.6) シャコ 4 (15.9) アカエビ 3 (10.3)	
主要種 湿重量[%]		アカエイ 99.9 (52.6) サルボウガダイ 67.1 (35.4)	イヌノシク属 2.6 (100.0)	アカエイ 1,192.9 (53.9) ヒラメ 942.0 (42.6)	
主要種 全長[cm] (平均値)	アカエイ	3.6		5.1	
	サルボウガダイ	3.2		3.2	
	トリガダイ	-		-	
	シャコ			7.4	
	アカエビ			4.2	
	スベスベエビ	3.0		3.6	
	アカエイ	32.4		50.3	
	テンジクタマゴ			4.4	
	ハタタテヌメリ			7.1	
	ネスマコチ	4.8		6.3	
	ヒラメ			78.2	
	アカシタヒラメ			15.8	
	イヌノシク属	6.9	8.1	7.3	

- 注) 1. 個体数、湿重量は1網当たりで示す。
 2. 平均欄の種類数は、総種類数を示す。
 3. 主要種は各調査点での個体数または湿重量の上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。
 4. 主要種の全長欄のミヅガダイ類は殻長を示す。
 5. 主要種の全長欄の「-」は破損により測定不可能であったことを示す。

海域生態系様式第8号

水産生物調査結果（小型底曳網調査②） [令和7年2月分]

調査日：令和7年2月25日

調査点：3

項目 水深[m]	水温[℃]	塩分[-]	D0[mg/l]	D0飽和度[%]
0.5	7.5	28.9	12.0	120.5
1.0	7.7	29.7	11.9	121.2
2.0	8.3	30.9	11.5	119.9
3.0	8.3	31.3	10.8	113.0
4.0	8.3	31.4	10.5	109.9
5.0	8.4	31.4	10.2	107.2
6.0	8.5	31.6	9.9	103.8
7.0	8.5	31.6	9.7	102.3
8.0	8.5	31.7	9.7	101.4
9.0	8.7	31.8	9.5	100.3
10.0	8.8	32.1	9.3	98.2
11.0	8.9	32.1	8.8	93.7
12.0	8.9	32.1	8.6	91.6
13.0	8.9	32.1	8.5	89.9
14.0	8.9	32.1	8.4	89.0
15.0				
16.0				
17.0				
18.0				
19.0				
20.0				
海底面上1.0	8.9	32.1	8.4	89.0

水産生物調査結果（小型底曳網調査②） [令和7年2月分]

調査日：令和7年2月11日

調査点：4

項目 水深[m]	水温[°C]	塩分[-]	DO[mg/l]	DO飽和度 [%]
0.5	7.2	29.2	12.3	123.0
1.0	7.2	29.2	12.3	123.3
2.0	7.2	29.2	12.3	123.2
3.0	7.2	29.2	12.3	122.8
4.0	7.2	29.5	12.1	121.9
5.0	7.3	30.2	11.7	118.1
6.0	7.7	31.4	11.1	114.1
7.0	8.1	32.1	10.6	110.2
8.0	8.3	32.0	10.2	106.8
9.0	8.4	32.1	10.1	105.6
10.0	8.3	32.2	10.0	104.6
11.0	8.3	32.2	9.7	101.7
12.0	8.3	32.2	9.6	100.1
13.0	8.3	32.2	9.5	99.3
14.0				
15.0				
16.0				
17.0				
18.0				
19.0				
20.0				
海底面上1.0	8.3	32.2	9.5	99.2

海域生態系様式第8号

水産生物調査結果（小型底曳網調査②） [令和7年2月分]

調査日：令和7年2月25日

調査点：7

項目 水深[m]	水温[°C]	塩分[-]	D0[mg/l]	D0飽和度[%]
0.5	7.8	28.2	11.8	118.7
1.0	7.8	29.0	11.8	119.6
2.0	7.9	30.2	11.8	121.4
3.0	8.0	30.4	11.4	117.2
4.0	8.1	30.6	10.9	112.9
5.0	8.2	30.8	10.7	110.9
6.0	8.1	31.0	10.6	109.9
7.0	8.3	31.4	10.3	107.0
8.0	8.4	31.5	10.1	105.2
9.0	8.5	31.6	9.7	101.3
10.0	8.6	31.7	9.3	98.0
11.0	8.8	31.8	9.1	95.9
12.0	9.0	32.0	8.6	90.8
13.0				
14.0				
15.0				
16.0				
17.0				
18.0				
19.0				
20.0				
海底面上1.0	9.1	32.1	8.0	84.8

海域生態系様式第8号

水産生物調査結果（小型底曳網調査②） [令和7年2月分]

調査日：令和7年2月11日

調査点：8

項目 水深[m]	水温[°C]	塩分[-]	DO[mg/l]	DO飽和度 [%]
0.5	6.7	20.4	12.5	117.0
1.0	6.7	24.2	12.4	118.5
2.0	6.9	27.9	12.7	125.4
3.0	7.2	29.7	12.6	126.8
4.0	7.8	30.5	11.6	118.6
5.0	7.8	30.8	10.8	110.4
6.0	7.9	30.9	10.4	107.0
7.0				
8.0				
9.0				
10.0				
11.0				
12.0				
13.0				
14.0				
15.0				
16.0				
17.0				
18.0				
19.0				
20.0				
海底面上1.0	7.9	31.3	9.8	101.4

海域生態系様式第8号

水産生物調査結果（小型底曳網調査②） [令和7年2月分]

調査日：令和7年2月11日

調査点：9

項目 水深[m]	水温[°C]	塩分[-]	D0[mg/l]	D0飽和度[%]
0.5	6.0	15.0	10.7	94.8
1.0	6.0	15.0	10.7	94.8
2.0				
3.0				
4.0				
5.0				
6.0				
7.0				
8.0				
9.0				
10.0				
11.0				
12.0				
13.0				
14.0				
15.0				
16.0				
17.0				
18.0				
19.0				
20.0				
海底面上1.0	6.4	16.8	10.5	95.4